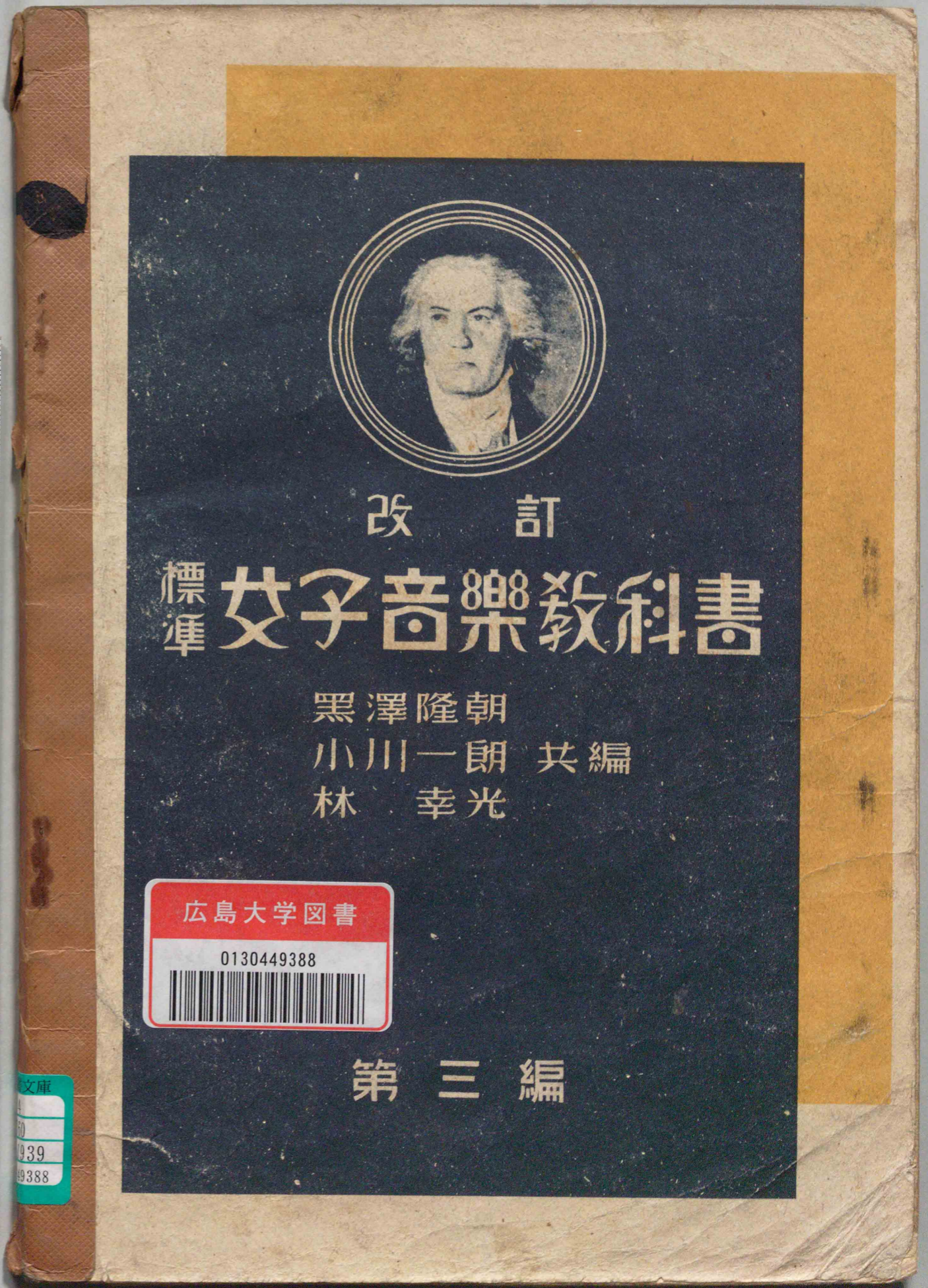
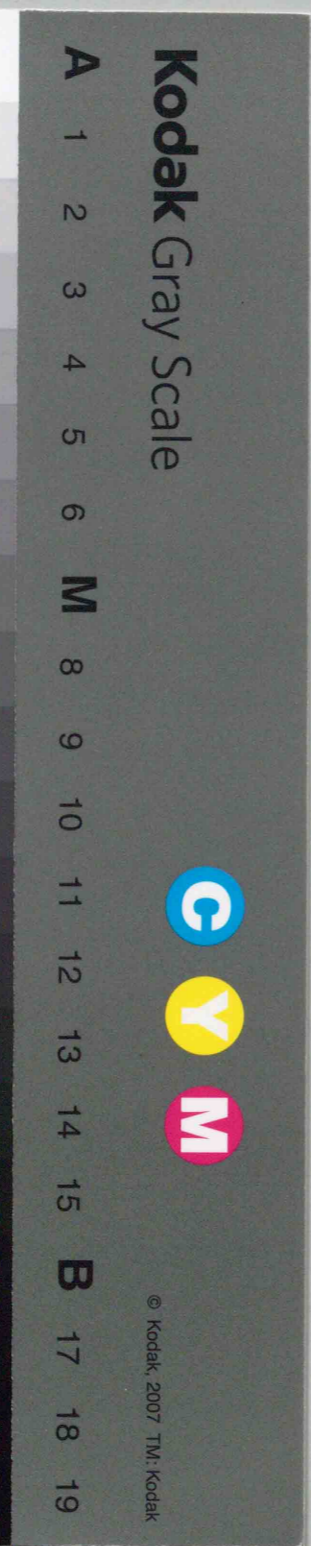
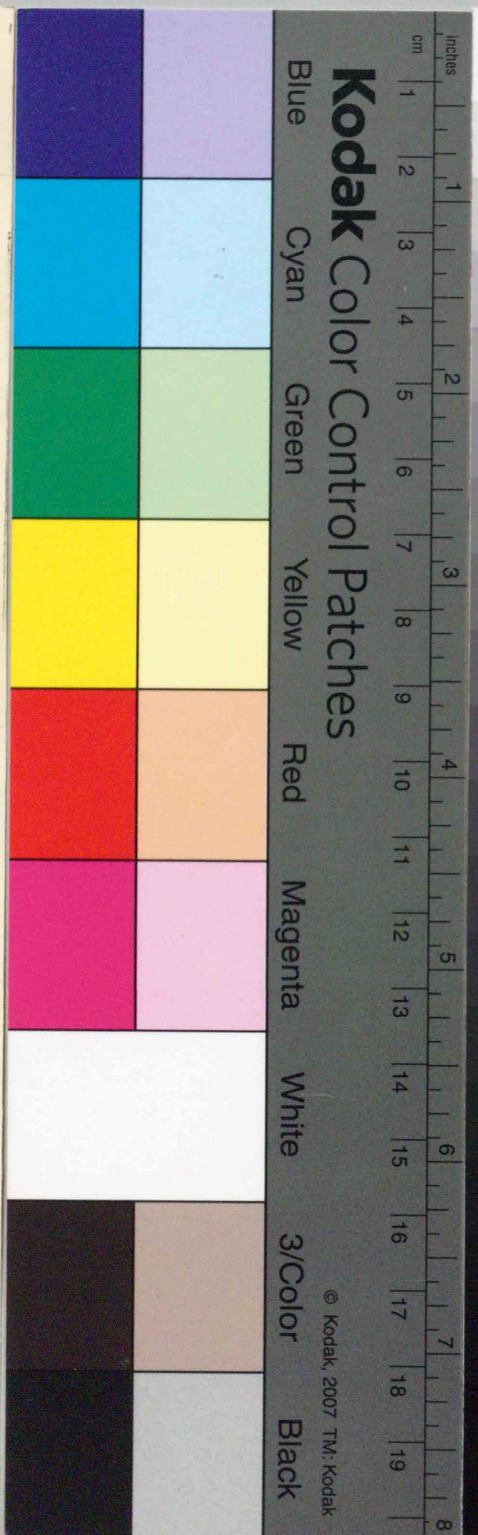


41067

教科書文庫

4
760
42-1939
01304 49388



広島大学図書

0130449388

文庫

42-1939

01304
49388

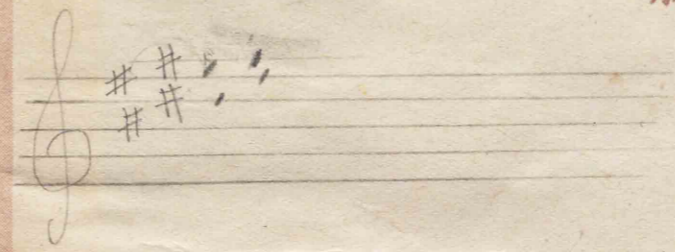


教科書文庫
4
760
42-1939
0130449388

改訂標準 女子音樂敎科書

第三編

黑澤隆朝
小川一朗
林幸光
共編



文部省檢定済（昭和十四年三月十二日）
（師範學校 高等女學校音樂科）

広島大学図書
0130449388

中央図書館



リュートを奏する男 (Caravaggio筆)

広島大学図書

0130449388



明治天皇御製

女

なよ竹は

すなほならなむ

うつせみの

世にぬけいでむ

力ありとも

なよ竹は

編者談作曲

♩ = 66.

mp

mf

なよ-たけ-は すなほ-なら

な-む -- うつ-せみ-の

よに-ぬけい でむちからあり-とも

巻頭のことは

本書は文部省の音楽教授要目に準據して、現代の女子師範學校並に高等女學校の音楽教科書として編纂されたものである。

本教科書の特長として擧げる事の出来るのは次の諸點で、之等は行詰まれる音楽教育界に必ずや偉大なる貢獻を齎すべきことを堅く信ずるものである。

一 歌曲の形式は一々重要なる任務を有ち、易より難に極めて自然に排列せられてゐる。

歌曲の排列に當つては常に樂典知識の進歩と併進せしめる事に努め、音符の形態、リズムの形式、拍子、調等のあらゆる事項にいつて極めて綿密に考察せられ、前後よく連絡を保つてゐる。

二 歌曲にはなるだけ伴奏をつけ、生徒の音楽的陶冶に便にしてゐる。

言ふまでもなく音楽科に於ける歌曲教授は、聲樂的訓練をその目的の全部とするものでなく、常にその歌曲を中心として能ふ限り音楽的陶冶をなすにあるのである。その意味からメロディのみならず、常にハーモニーその他の音楽的條件を理解せしむる事に努力したのである。

三 歌曲の形式、及び之に含まれる音楽的要素の理解をはかる爲めには、基礎的練習、又は類似曲をあつめて之を参考曲、又は鑑賞曲として縦横自在にその徹底を期した。

練習曲は時間の都合により教授者の任意に待つものがあるが編者は最少限度と見て此等の練習曲を挿入したものである。又参考曲は正教材に準ずるもので、容易に自學し得べきものを之にあてた。

國華五章

明治天皇御製

さしのぼる朝日の如くさわやかにもたまほしきは心なりけり

昭憲皇太后御歌

まこともてまじらふ友はなか／＼にはらからよりもしたしまれけり

大伴家持

海ゆかば水漬くかばね山行かば草むすかばね

大君の邊にこそ死なめかへりみはせじ

康資王母

人の子の親にぞなりてわが親の思ひはいとゞ思ひしらるゝ

正岡子規

櫻咲く御國しらすと百敷の千代田の宮に神ながらいます

四 鑑賞曲は學習者の理解程度に應じ、聲樂器樂を通じて次第に世界的名曲に及び、國民の教養に必要と思はれる名曲は殆ど之を網羅した。

之は本書の最も力を注いだ新生面で、從來の音樂教育を唱歌教授の域から援ひたい意圖に出たものである。更に之を補ふ爲めに必要に應じ、次の二點に深甚なる考慮を拂つた。

五 曲の解説、樂器の圖解、作曲者の評傳等は勿論、音樂理解に必要な圖形寫眞を惜みなく挿入した。

六 歌詞の一字一音は常にメロディの性質によつて、極めて自然に音韻を配置した事。

之は從來殆んど顧みられざる一大缺陷であつた。此の考慮を缺く時は、如何なる名歌詞も支離滅裂の誹を免れない。

その他樂典の解説に就いては徒らに條文的の無味乾燥に流れる事を避けたこと、練習曲等には各々その學習の要點を指摘する事につとめた。

本書に収録された樂曲は、少數の編者作を除くの外は殆ど泰西の名曲で、然も日本の國民性に共鳴點の多いもののみを選び之に諸家を煩はして前述の如き歌詞を新作したものである。

終りに臨み鑑賞本位音樂陶冶主義に立脚して編纂した編者の意圖に賛同せられ、音樂教育更新の爲め、本書の使命をして意義あらしめる様希望して止まない次第である。

昭和六年盛夏

編纂者識す

改訂について

標準女子音樂教科書を世に問うて茲に六年、諸種の點に於いて改訂の必要を感じたので、全般的に大改訂を加へ、殆ど面目を一新せしめた。

勿論使用者諸彦の親切なる御建言をも率直に容れて之を考慮し、現代の音樂教育の上に萬遺漏なきを期した。

改訂にあたつて特に注意したことは次の諸項である。

- 一、日本國民たるの榮ある自覺に於いて、音樂を學習すべきことを一層強調した。
- 二、教材歌曲を更に嚴選し、かつ獨唱曲その他多數の新しき歌曲を増補して一層選擇を自由にした。
- 三、隨所に〔參考〕欄を設け、自習又は適當なる指導によつて、音樂鑑賞上の必要なるべき知識を興へ、かつ寫眞・圖解等を多く加へてその理解を助けた。
- 四、附録として音階練習、又はコール・ユー・ブンゲンより拔萃した系統的な音程練習を加へて、學習上の便に備へた。
- 五、本教科書五編の全卷は、一貫したる音樂鑑賞讀本であり、世界名曲總目錄であり、かつ愛誦曲集であり、卒業後も音樂常識の好侶伴たるべき便に備へて、卷末に索引・總目次を示した。

昭和十三年九月二十日

編纂者再識

改訂標準女子音楽教科書第三編

目次

口 繪 リュートを奏する男 巻頭

御製なよ竹は (編者謹作曲) 巻頭

國華五章 巻頭

一 各調長音階と鍵盤 1

樂しき春 (Beethoven) 2

地上の歡喜 (") 4

【参考】一 器樂とその編成 6
器樂—器樂の種類—管絃樂に用ひられる樂器

天壤無窮 (Beethoven) 8

胡蝶 (R. Schumann) 10

〔鑑賞〕無言歌 (Mendelssohn) 11

【参考】二 ベートーヴェン 12

〔鑑賞〕ミスエット(ト長調)(Beethoven) 14

【参考】三 ミスエット・トリオ形式 14

〔鑑賞〕トルコ行進曲(アテネの廢墟より)(Beethoven) 15

〔鑑賞〕トルコ行進曲(Mozart) 15

【参考】四 ソナタ形式とソナタ曲 16

【参考】五 ベートーヴェンのセアノソナタ 17

春の歌 (Mendelssohn) 18

【参考】六 室内樂 20

〔鑑賞〕「クロイツェルソナタ」より (Beethoven) 21

The Alphabet (Mozart) 22

散りゆく花 (作曲者不詳) 24

〔参考曲〕拾小舟 (J. P. Knight) 25

玻璃の清水 (ドイツ曲) 26

心靜かに (Mozart) 28

聲 (Schulze) 30

二轉調 31

三連音符と複附點音符 32

〔鑑賞〕フランス國歌 (Rouget de L'isle) 34

〔鑑賞〕米國國歌 34

〔鑑賞〕星條旗の歌 (Smith) 35

海邊の眺望 (Verdi) 36

【参考】七 聖劇と歌劇 38

【参考】八 宗教音樂の話 39

獵人の合唱 (Weber) 40

〔鑑賞〕歌劇「魔彈の射手」花の冠合唱より (Weber) 44

(小傳) ウェーバー 45

〔鑑賞〕舞踏への勸誘 (Weber) 45

山のうた (L. Denza) 46

【参考】九 シンフォニー(交響曲)の話 48

(小傳) ロッシーニ 50

〔鑑賞〕歌劇「ウィリアム・テル」中の牧歌調 (G. Rossini) 50

〔鑑賞〕歌劇「ウィリアム・テル」中の行進曲(") 50

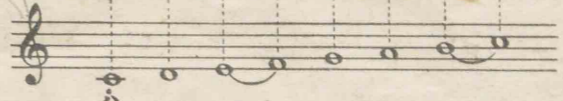
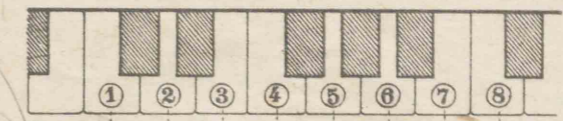
(小 傳) チャイコフスキー	51
[鑑 賞] アンダンテ・カンタービレ (Tschaikowsky)	51
[鑑 賞] 「悲愴交響曲」より (")	51
遠 寺 の 鐘 (Silcher)	52
[鑑 賞] 搖籃の歌二曲 (Hauser) (A. Iljinsky)	54
[鑑 賞] ガヴォット (David Popper)	55
[鑑 賞] ガヴォット (F. Jos. Gossec)	55
眠 れ 英 靈 (Schubert)	56
少 女 の 夢 (Chopin)	58
【参考】十 シ ョ バ ン	60
[鑑 賞] 「幻想的即興曲」より (Chopin)	61
[鑑 賞] 「マヅルカ」より (")	61
[鑑 賞] 「夜想曲」より (")	61
船 路 (Mazzinghi)	62
[鑑 賞] ワルツ「ドナウの漣」より (Ivanovici)	66
[鑑 賞] 交響詩「モルダウ」より (Smetana)	66
(小 傳) ス メ タ ナ	67
[鑑 賞] ワルツ「碧きドナウ河」より (J. Strauss)	67
(小 傳) ヨハン・シュトラウス	67
紡 ぐ 少 女 (Hugo Jüngst)	68
雪 山 の 歌 (高木東六)	70
[鑑 賞] 「スケーターワルツ」より (Waldteufel)	74
[鑑 賞] 「トロイカ」より (Tschaikowsky)	74
若 人 の 歌 (Butterfield)	75

早 春 賦 (中田 章)	76
皇 軍 凱 旋 (Offenbach)	78
四 樂 典 の 知 識	82
[一] 音 程	82
[二] 音程の數へ方	82
[三] 全音階的音程	82
[四] 半音階的音程	84
[五] 音程の轉回	84
[六] 短音階とその種類	85
[七] 短調の調號	86
【附 録】一 發聲・音階練習	87
【附 録】二 音程練習 (コールユーブンゲン抜萃)	88

7...ドが書きの...

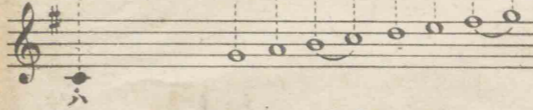
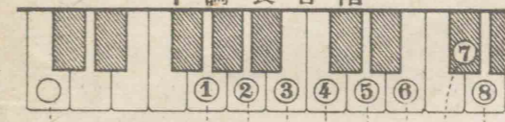
一、各調長音階と鍵盤

ハ調長音階

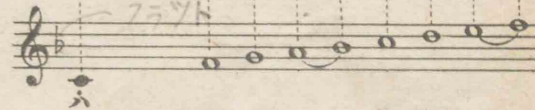


記号
ハ

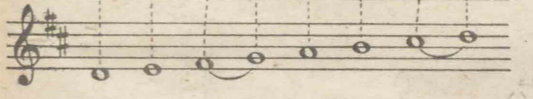
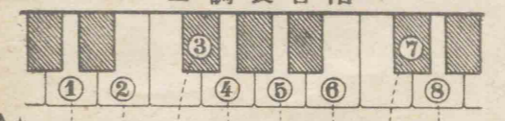
ト調長音階



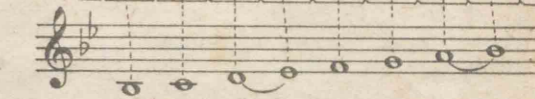
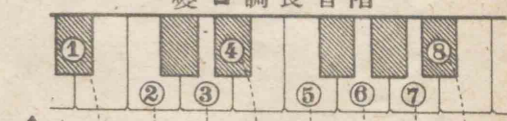
ニ調長音階



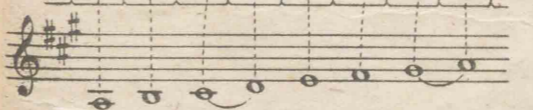
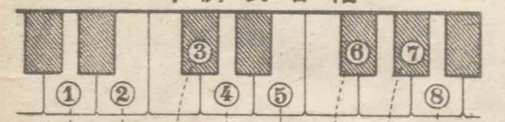
三調長音階



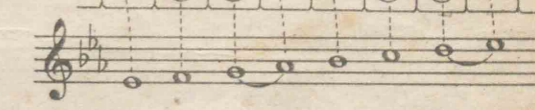
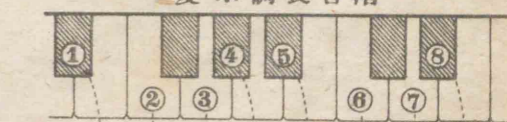
変ロ調長音階



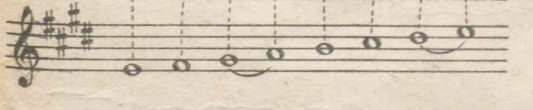
イ調長音階



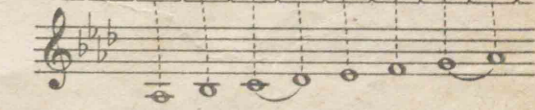
変ホ調長音階



ホ調長音階



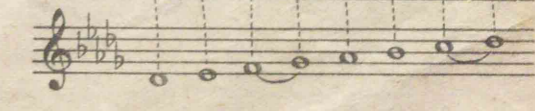
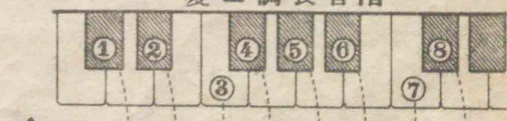
変イ調長音階



ロ調長音階



変ニ調長音階



樂しき春

Grazioso. ♩ = 132.

Beethoven.

p

一. ターノシキハルノアカツキヤムラーサキーコ
二. たのしきはるのいりあひやくれなわーそ

p

メーモーノヤマヤマーハミナカスミニネーム
めはなみるひとのおもかけそらーをうーつ

mf

ルすチヨーチヨーチヨートナクコ
いづちの寺の鐘

mf

トリンノウータヲハコーモリンノウタ
もぢにたゆたひはなーやかね

1.
キキナシテヤマハネームル
ひとびとやのどかにくる

2.
る

樂しき春

藤村 俊

一たのしき春のあかつきや

四方の山々はみな霞に眠る

ちよくと鳴く小鳥の歌を

子守の歌と聞きなして山は眠る

二たのしき春の入相や紅染め

花見る人の面影空を映す

いづちの寺の鐘雲路にたゆたひ

花や鐘や人々やのどかに暮るゝ

地上の歡喜

Alla Marcia. (♩ = 104) (「第九交響曲」より)

Beethoven.
編者編曲

mf

一 タ タ ヘ ヨ ウ タ ヘ ヨ カ ミ ノ ミ ワ ザ ヲ
 二 た た ヘ よ う た ヘ よ か み の み わ ざ を
 三 タ タ ヘ ヨ ウ タ ヘ ヨ チ ジャ ウ ノ ク ク ン キ

mf

ノ ビ ユ ク キ グ サ ハ シ バ シ モ ヤ マ ズ
 み み う つ し ら べ し ば し も た え ず
 ワ カ サ ニ カ ガ ヤ ク フ レ ラ ガ イ ノ チ

ff

コ サ メ ニ モ エ ツ ル コ ノ メ フ ミ ヨ ヤ ハ
 と り さ へ む し ー さ へ ひ も ー よ も た へ に あ
 ゼ ン ビ ノ ヒ ト ー ノ ヨ マ ス ー グ ニ ス ス メ ハ

rit

一 ル ビ ニ ホ ホ エ ム ツ ボ ミ ヲ ミ ヨ ヤ
 一 さ か ぜ ゆ ふ か ぜ ー う た の お も し ろ
 一 テ ナ キ ケ ラ ク ハ ー ミ チ ニ ア フ ル ル

地上の歡喜

水田詩仙

一 讚へよ 歌へよ かみのみ業を
 伸びゆく 木草は
 しばしも やまぜ
 小雨に萌え出る 木の芽を見よや
 春陽に微笑む 蕾を見よや

二 讚へよ 歌へよ かみのみ業を
 耳うつ しらべは
 しばしも 絶えず
 鳥さへ蟲さへ 日も夜も妙に
 朝風夕風 歌のおもしろ

三 讚へよ 歌へよ 地上の歡喜
 若さに 輝く
 われらが生命
 善美の人の世 眞直にすゝめ
 涯なき快樂は 道に溢るゝ

【参考】一

器樂とその編成

器樂……人の聲を主として構成される音楽を聲樂といふに對して樂器のみの編成によつて作られる音楽を器樂といふ。

器樂の種類……聲樂に獨唱，重唱，合唱等のある如く，器樂に於ても獨奏(Solo)，重奏(Ensemble)，合奏(Concert)の三つに分つことが出来る。

獨奏は樂器の種類によつて，伴奏を必要とするヴァイオリン獨奏，チェロ獨奏，フリュート獨奏その他があり，伴奏の必要のないものに，ハープ獨奏，ピアノ獨奏，オルガン獨奏等がある。

重奏は人数によつて二重奏，三重奏，四重奏等，七・八重奏程度に及ぶ小規模の合奏樂である。

合奏はその人数に制限なく，演奏樂器の種類によつて絃樂合奏(String Orchestra)，管樂合奏又は吹奏樂(Brass band)，管絃樂(Orchestra)等に分類される。

吹奏樂は主として野外演奏に用ひられる。



管絃樂伴奏によるピアノ獨奏



チェロ獨奏

菊

一庭や千草も虫の音も
枯れてまぶしくなりけり
あゝ白菊あゝ白菊
ひとり寂しげに咲きにけり
一巾にたれさや菊の花
霜はあゝまや菊の花
あゝあはれあはれ
あゝ白菊
ひとり操もかくてこり

白百合

一 道は折れども戦地に
白百合の花白ふなり
清き白百合の赤十字
あゝまぶしく白ふなり
二 黄昏野戦病院の
ゴトに呻く声
弟の心と人あめい
巻く繻帯に血は流す
三 女ながらも皇國の
爲に拵げし身あはれ
野雨夜半にふせさめい
ゆめは祖國を介けあらし
四 はりかにふくむ道草の
あはれ今宵も皇國に
勝たさあれと念ひしつ
白衣の乙女軍を見よ

聲樂といふに對して
といふ。

ある如く、器樂に於
concert) の三つに分つ

するヴァイオリン獨
り、伴奏の必要のな
獨奏等がある。

奏等、七・八重奏程

類によつて絃樂合奏
Brass band), 管絃樂



チェロ獨奏



ストコフスキー指揮のフィラデルフィア管絃樂團

管絃樂に用ひられる樂器を示せば、大體次の

- 1. 絃樂器 ヴァイオリン
- 2. 木管樂器 ピッコロ、クラリネット、ファゴット
- 3. 金管樂器 トラムペット
- 4. 打樂器 大太鼓、小太鼓、カスタネット

猶吹奏樂にはコルネット、バリトーン、小バス、大バス、バス、スーザフォン等も、近來サキソフォン屬の多種の合奏樂に用ひられて、管絃樂は交響曲、交響詩曲等の管絃樂のために作曲を演奏する外、聖劇、歌劇、舞踊等の伴奏をなし、又ソナタ曲を獨奏する樂器(ピアノ、ヴァイオリン、チェロ等)の伴奏をなすことがある。このやうな曲を協奏曲(コンツェルト)といふ。

菊

一庭の千草も虫の音も
枯れてまぶしくなりけり
あゝ白菊あゝ白菊
ふとりの涙水で嘆きにけり
二 巾にたれや菊の花
霜へおこさや菊の花
あまねはれおはれ
あゝ白菊
ふとりの涙もかくてこり

白百合

一 夏は越けども戦地に
白百合の花白ふなり
清き白百合の赤十字
あやましく白ふなり
二 黄谷野 戦病院の
ゴトに呻く声
弟のこゝろを慰め
巻人 猶帯に血は流す
三 女あるか皇國の
着に拵げし身おれけ
時雨夜中にふとせぬ
ゆめは祖國をかけあがり

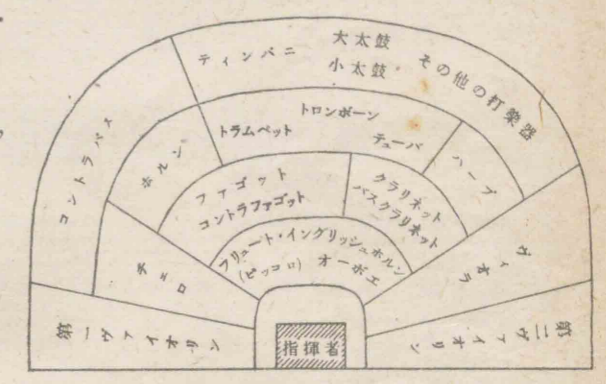
四 はるかにふかき道 野原に
あけれ 今宵も皇國に
勝たせられと念じつつ
白衣の乙女軍を見る

管絃樂に用ひられる樂器……今現代の管絃樂に用ひられてゐる樂器を示せば、大體次のやうなものである。

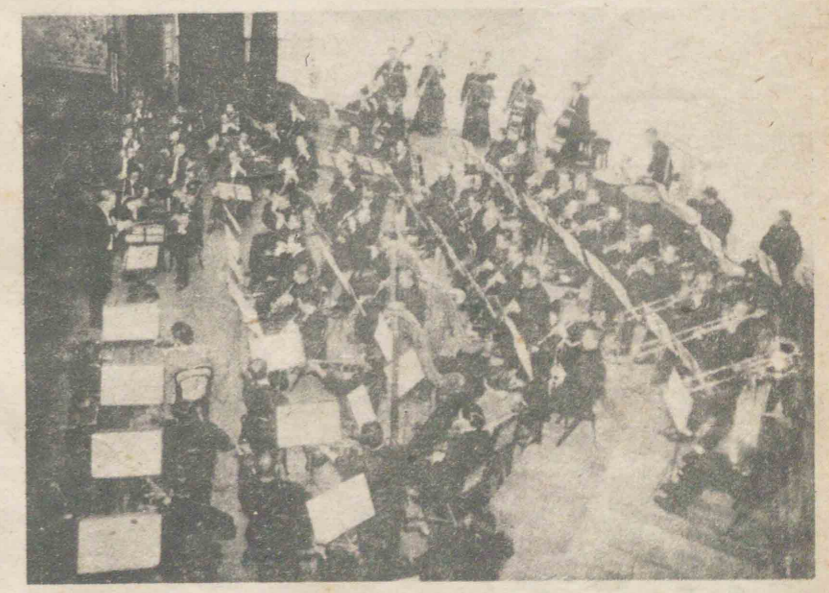
- 1. 絃樂器 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ
- 2. 木管樂器 ピッコロ、フルート、オーボエ、イングリッシュホルン、クラリネット、バスクラリネット、ファゴット、コントラファゴット
- 3. 金管樂器 トラムベツト、フレンチホルン、トロンボーン、チューバ
- 4. 打樂器 大太鼓、小太鼓、ティンパニ、シンバル、トライアングル、カスタネット、タムタム、チャイム、チェレスタ、木琴

猶吹奏樂にはコルネット・アルト・バリトーン・小バス・大バス・ヘリコンバス・スーザフォーン等も用ひられ、近來サクソフーン屬の樂器も各種の合奏樂に用ひられてゐる。

管絃樂は交響曲・交響詩曲・序曲・組曲等の管絃樂のために作られた樂曲を演奏する外聖劇歌・劇舞踊等の伴奏をなし、又ソナタ曲を獨奏する樂器(ピアノ・ヴァイオリン・チェロ等)の伴奏をなすことがある。このやうな曲を協奏曲(コンツェルト)といふ。



オーケストラの配置圖



東京音楽學校管絃樂演奏圖(側面より)

天 壤 無 窮

Beethoven.
編者 編曲

Maestoso. (♩ = 80)

一. ア フ ギ ミ ヨ ア マ ツ ビ
二. ほ ぎ う た の こ ゑ ほ が

ツ ギ シ ラ ス ハ ビ ノ モ ー ト カ ン ナ
ら に た た へ ん ひ の も ー と か ん な

poco a poco cresc.

ガ ラ キ ミ ハ イ マ シ ミ ツ ホ ノ ク
が ら な り し く に は あ め つ ち の

poco a poco cresc.

ニ ア リ チ ヨ ロ
き は み さ か か え

cresc.

ツ ノ タ ミ ク サ ハ モ ミ メ グ ミ ニ シ ゲ
に さ か え は え な ん と き は に か き は

cresc.

ル に タ タ へ ヨ ヤ ア マ テ ル
の た ぐ ひ な き わ が ひ の

カ ミ イ シ ク モ ヒ ノ モ ト ク
も と あ ふ げ よ わ が き み た

ニ ハ ジ メ マ シ ー ヌ
た へ よ う た ー へ

天 壤 無 窮

水 田 詩 仙

一 仰ぎ見よ 天津日嗣

知らずは日の本

神惟 君は在し 瑞穂の國あり

千萬の 蒼生はも 御恵に繁る

稱へよや 天照る神 美しくも

日の本 國肇めましぬ

二 祝歌の 聲ほがらに

稱へん日の本

神惟 爲りし國は 天壤の極み

榮えに榮えはえなん 常磐に堅磐に

たぐひなき わが日の本

仰げよ わが君 稱へよ謳へ

胡蝶

Sehr mässig (極めて中庸に) (♩ = 69)

R. Schumann.

一 イ チ ラ シ マ シ ロ ノ コ テ フ ヨ テ フ ヨ カ
 二 ま が き に い こ へ や こ て ふ よ て ふ よ す
 三 マ シ ロ キ ツ バ サ ノ コ テ フ ヨ テ フ ヨ ハ

ヨ ワ キ ツ バ サ ニ コ ノ ニ ハ ベ フ
 み れ や ひ な ぎ く ほ こ ろ び た り
 ナ ハ チ ニ ア フ レ ト リ モ キ ナ カン

ト ヒ コ シ コ テ フ ハ ル ノ タ ヨ リ ツ グ ル ア ハ レ ヤ
 な つ か し こ て ふ こ ぞ の ち か ひ は た す か な し や
 ナ ガ ト モ サ ソ ビ キ タ リ ア ソ ベ ハ ル ノ ヒ ト ヒ ヲ

[鑑賞]

無言歌

Mendelssohn.

Allegretto grazioso.

1. *p* *sf* *sf* 後略

胡蝶

水田詩仙

一	いぢらし眞白の	胡蝶よ蝶よ
二	かよわき翼に	この庭邊を
三	訪ひ來し	胡蝶
四	春の便り告ぐる	あはれや
五	籬 <small>きさき</small> に憩へや	胡蝶よ蝶よ
六	莖 <small>こゝろ</small> や雛菊	綻 <small>はなこ</small> びたり
七	なつかし	胡蝶
八	去 <small>こ</small> 年の誓はたす	愛 <small>あな</small> しや
九	眞 <small>ま</small> 白 <small>しろ</small> き翼の	胡蝶よ蝶よ
十	花は地にあふれ	鳥も來鳴かん
十一	汝 <small>な</small> が友	誘 <small>さそ</small> ひ
十二	來り遊べ春の	一日 <small>ひとひ</small> を

【参考】ニ

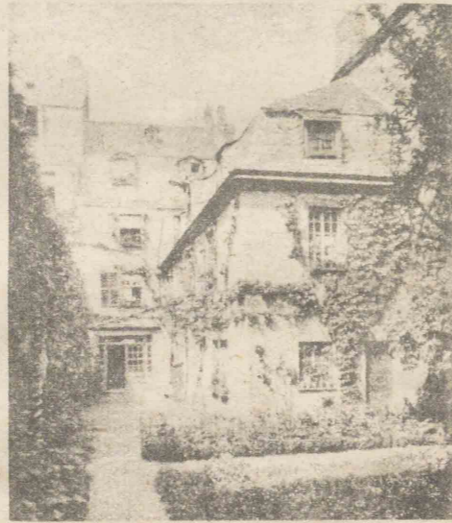
ベートーヴェン



ベートーヴェン (Ludwig van Beethoven 1770 - 1827) は南ドイツのフランスに近い、ライン河のほとりにあるボン市に生れた。祖父は知名の音楽家であつたが、父は飲酒甚しく家計は頗る困難であつた。音楽家であつた父は五六歳の少年時代からベートーヴェンに惨酷に近い程のはげしい音楽教育を課し、第二のモーツァルトたらしめようとした。その努力が報いられて十三歳の時には教會のオルガン擔當者としての席を與へられるにいたつた。

後當時の音楽の都ウィーンに遊學を試みたが、彼の最も親愛を捧げた母の急死にあつて業半ばにして歸り、再度の遊學は不幸にして父を失ひ、こゝに全く一家の支柱となつて弟妹の扶養に當らなければならなかつた。

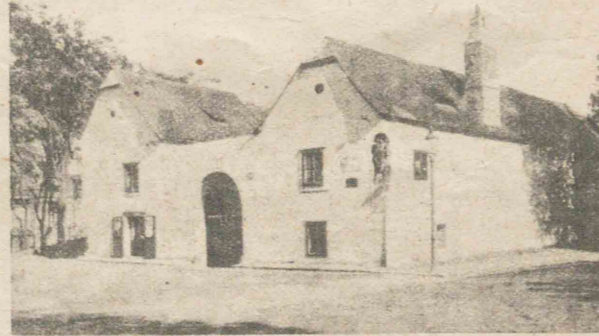
此の間にも彼は孜々として作曲に勵みウィーンに於いて彼の畢生の努力が始められた。しかるに三十歳前後から聴力が次第に衰へ、四十歳を過ぎた頃には筆談によらねばならなかつたといふ。この様な遺境と健康との間にありながら、彼は死に直面するまで作曲の筆をやめなかつた。そして残したものは萬古不朽の交響曲九曲、ピアノ音楽の金字塔といはれる三十二曲のピアノソ



ボン市のベートーヴェンの生家



ベートーヴェンの用ひた數種の聴音器



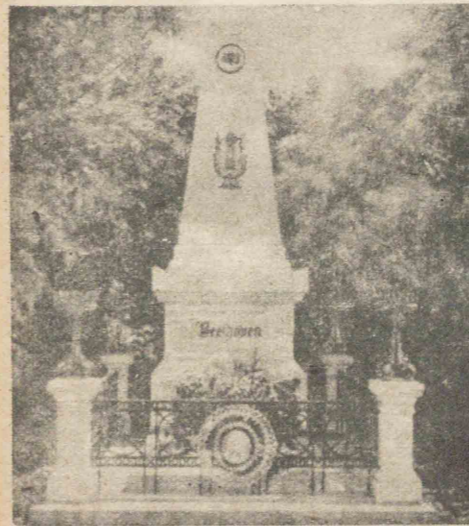
ウィーン・ハイリゲンシュタットの
ベートーヴェンの住宅



ベートーヴェンの面型(1812年)



ナポレオンの文字を抹消した英雄交響曲の表紙



ウィーンの郊外・中央墓地にある
ベートーヴェンの墓標

ナタ、「莊嚴なるミサ」(ミサ・ソレムニス) その他の崇高なる宗教樂、「エグモントの序曲」「レオノーレの序曲」等の合奏樂、その他「クロイツェルソナタ」等の如き室内樂曲、歌劇「フィデリオ」等聲樂曲に器樂曲に殆ど枚擧に追がない程の作品を遺した。

九曲の交響曲の中には最初ナポレオンを主題として作つたと稱せられる「第三交響曲」(英雄)、古今の交響曲の粹として選ばれてる「第五交響曲」(運命)、又次のロマン派時代を暗示する「第六交響曲」(田園)、それに合奏樂に合唱を入れて世人を驚かした「第九交響曲」(合唱)等がある。



ウィーンにあるベートーヴェンの記念像

[鑑賞]
ミヌエット (ト長調)

Beethoven.

Tempo di Minuetto.

2. *p* *A(a)*

p *b)*

p 1. 2. *Fine.*

Trio.
B(c)
mf

f *c)*

p 1. 2. *D.C. al Fine.*

A a a b b B c c c' c' A a b

[参考]三

ミヌエット・トリオ形式

ミヌエット (Minuet) とは上拍から起る三拍子の舞踊曲で、この軽快な舞踊は十八世紀頃フランスに盛んに行はれた。之を三分形式の第一部分とし、第二部分にトリオと稱する対照部を入れ、第三部分に最初のミヌエットを反復する作曲が試みられた。これをミヌエット・トリオ形式といふ。トリオ (Trio) とは三重奏、又は三重唱を意味する言葉であるが、當時は第二部分に置かれた部分は、管楽器の三重奏によつて行はれてゐたので、かく呼ばれたのである。此のトリオを第二部分に入れて反復する形式は、後にガヴオット、行進曲、ワルツ等にも用ひられた。

[鑑賞]
トルコ行進曲
(アテネの廢墟より)

Beethoven.

Allegretto.

3. *pp* *sva*

pp *cresc.*

sva *cresc.*

sva *più cresc.*

sva *mf*

sva *cresc.* 後略

[鑑賞]
トルコ行進曲

Mozart.

Allegretto.

4. *p*

p

p

tr

後略

【参考】四

ソナタ形式とソナタ曲

ソナタ形式……作曲上の形式の一つで提示部、展開部、再現部の三つの主要な部分から成立つて居る。

1. 提示部……この部分はその楽曲の要素、即ち作曲者が主題を示す部分である。主題は普通二箇あつて、最初第一主題がある調で現はれる。次に第二主題はこれに對照するやうな樂想によつて多く屬調に現はれる。この二箇の主題が反復されるのが常である。併し提示部の前に若干の導入部がつくことがあり、又第一主題と第二主題の間、第二主題から終止に至る間に經過的に短い主題や經過句が挿入せられることもある。

2. 展開部……この部分は提示部で示した要素を、作曲者がその技術の最善を盡して發展變化せしめる部分である。したがつて方式も制限もない。ソナタ形式の好まれる點は展開部の妙味にあるといはれてゐる。

3. 再現部……提示部の主題がそのまま現はれる。但し第二主題は原調に轉調して現はれるのが普通である。又獨奏曲に於いては演奏者の技倆を誇り、楽曲の終止を飾るためにカデンツァと稱する經過句を伴ふことがある。

(導入部)

- 一、提示部 第一主題(原調)
 第二主題(屬調)
- 二、展開部 主題の發展變化
- 三、再現部 第一主題(原調)
 第二主題(原調)

ソナタ曲……ソナタ形式による楽曲を最初に収めた組曲をソナタ曲といふ。ソナタ曲は普通次の様に配列される。

- 第一樂章 (急速なる曲、ソナタ形式)
- 第二樂章 (緩徐なる曲、歌謠形式)
- 第三樂章 (快活なる曲、ミヌエット・トリオ形式等)
- 第四樂章 (急速なる曲、ロンド形式、又はソナタ形式)

【参考】五

ベートーヴェンのピアノソナタ

ピアノソナタはハイドンによつて形態が完成され、モーツァルトを経、ベートーヴェンに到つてその最高峰が築かれたのである。即ち主題の規模、和音の豊麗、展開部の處理に於いて全く先人の域をぬき、更に後世の學徒をして欽仰せしめた。

彼は三十二曲の不朽のピアノソナタを遺した。後人はこれをバッハの「平均律による四十八曲」の功業に比すべきものとして、彼を「舊約聖書」とし、此を「新約聖書」として音樂史上に於ける地位を明かにした。

三十二曲の中で一般に知られてゐるものに次の數曲がある。

作品十三「悲愴ソナタ」(パテティック)

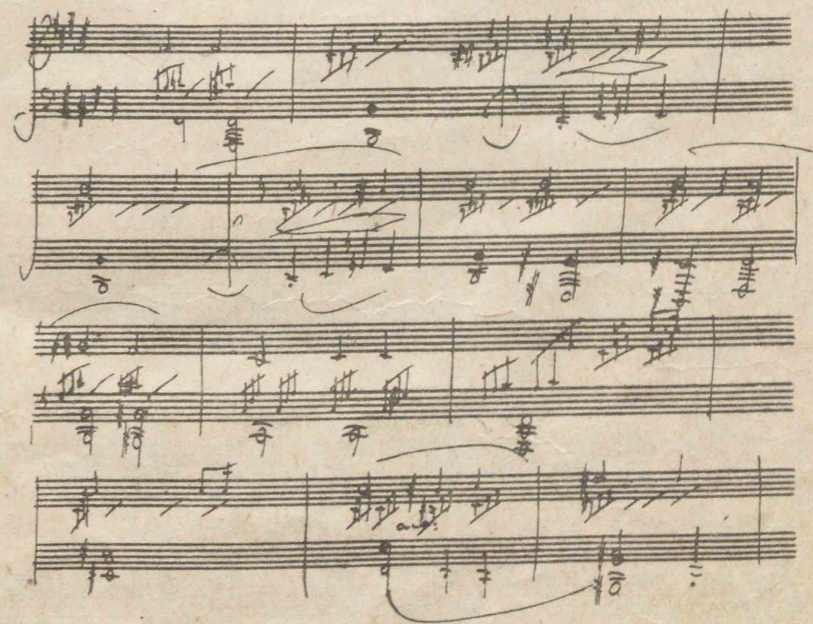
作品二十七の二番「月光ソナタ」(ムンライト)

作品五十三「ヴァルトシュタインソナタ」

作品五十七「激情ソナタ」(アバシヨナタ)

作品八十一のa「告別ソナタ」(アデュー)

その他作品百番以下五曲の後期に屬する大曲がある。



ベートーヴェン月光ソナタの原稿

春の歌

Mendelssohn.
編者編曲

Andante. (♩ = 56)

一. フクカゼナゴミテコノメハケブーリヌ
 二. おぼろのうすづきかげふみいゆけは
 三. イマコソノゾミノハルハオトツレネ

Andante. (♩ = 56)

ヤヨヒノヒカリハアマネクワタリテクロキツチ
 たがやのしらべかことーのねさやけくをぐらきま
 ワカキハラカラヨムネウチヒラキテコノヨノハ

イロド ルワカクサ
 かをーるはうめかか
 コトーホギウタハ

dim. e ritard. a tempo

ノヘニ イロド ルワカクサ
 がきに かをるはうめかか
 ルーヲ コトホギウタハ

春の歌

水田詩仙

一 吹く風和みて 木の芽は煙りぬ
 やよひの陽光は あまねくわたりて
 黒き土の上に 彩る若草

二 朧の薄月 影踏みいゆけば
 誰が家のじらべか 箏の音さやけく
 小暗き牆に 薫るは梅が香

三 今こそそのぞみの 春は訪れね
 若きはらからよ 胸うち開きて
 この世の青春を ことほぎ歌はん

【参考】六

室内楽

室内楽……少人数で合奏する音楽に室内楽がある。これは楽器の種類、及びその数によつて次の様に分けられる。

- 二重奏 (Duet) ^{デュエット} ヴァイオリン:ピアノ, ハープ:フルーテ等
- 三重奏 (Trio) ^{トリオ} ピアノ:ヴァイオリン:チェロ(ピアノ三重奏)等
- 四重奏 (Quartet) ^{クワルテット} ヴァイオリン1,2:ヴィオラ:チェロ(絃楽四重奏)等
- 五重奏 (Quintet) ^{クインテット}, 六重奏 (Sextet) ^{セクステット}, 七重奏 (Septet) ^{セプテット} (これらは多く絃楽に管楽器を配して作られたるものである。)

室内楽曲……室内楽のために書かれたソナタ曲は、そのまゝトリオ(三重奏曲), クワルテット(四重奏曲)をもつて標題とする習慣になつてゐる。ピアノ三重奏

(Piano trio), 絃楽四重奏 (String quartet) は室内楽の粹でハイドン, モーツァルト, ベートーヴェン, ブラームス等は勝れた室内楽曲を遺した。



絃楽四重奏 (側面より)



ピアノ三重奏

【鑑賞】

「クロイツェルソナタ」より (ヴァイオリン・ピアノソナタ)

Beethoven.

第一楽章 Presto.

5.

第二楽章 Andante con Variazioni.

The Alphabet

English

A B C D E F G H I J K L M
 N O P Q R S T U V W X Y Z

Deutsh

アー ベー フェー テー エー エフゲー ハー イー ヨフト カー エル エム
 A B C D E F G H I J K L M
 ナー オー ペー ケー エル エス テー ウー フアウ ウエー イフラス ユブレロン フェフト
 N O P Q R S T U V W X Y Z

The Alphabet.

Mozart.
編者編曲

Allegretto. (♩ = 132)

Allegretto. (♩ = 132)

p A B C

p

Allegretto.

mf *f* *p*

mp

D E F G H I J K L M N O, K L M N O P Q,

mp

tr *mp*

p *mp*

p *f* *p*

K L M N O P Q R S T U V W X-Y- and Z.
(und)

A B C D

p *p*

A B C D E F G H I J

ABCDEF GHIJKL

p

mp *p*

K L M N O, K L M N O P Q, K L M N O P Q

mp *p*

tr *mp* *p*

R S T U V W X-Y- and Z.
(und)

散りゆく花

作曲者不詳

Andante. (♩ = 84)

一 ツ ツ ミ ニ ツ ラ ナ ル チ モ ト ノ
二 い と ひ く は る さ め ち る は な

サ ク ラ ア サ ヒ ノ ヒ カ リ ニ ユ キ
を し む て ん ち の な み だ か ひ ね

ト チ リ シ ク カ ゼ サ ヘ タ タ ス フ
も す く ら し さ く は な あ だ な り

ユ フ ベ モ マ タ デ チ リ ユ ク ハ ナ
ち ら ぐ さ な が ら に さ れ ど も た れ か

ヲ シ ム コ コ ロ イ ツ ノ ヨ ニ モ カ ハ ラ ジ
と は に め ぐ る は る を う ら み は て た る

[参考曲]

捨小舟

植村甫作歌
J. P. Knight. 曲

Adagio con espressione. (♩ = 66)

一 ミ ソ ラ ニ マ タ タ ク ホ シ ノ ヒ カ リ ノ マ
二 あ ら し ふ き す さ み な み は さ か ま き あ

モ ラ セ タ マ ヘ バ ヤ ス ラ カ ニ ネ ム ラ シ ナ
め つ ち ー く ら く は た た き も ひ び ー け か

ミ デ ハ ル ケ ー ク タ ヌ タ フ ラ プ ネ ニ ヤ
と も に あ れ ば わ れ に う れ ひ な し や

ス ラ カ ニ ネ ム ラ シ カ ミ ノ ミ ス サ ビ ニ ユ
ず ら か に ね む ら ん か み の み す さ び に ゆ

ル ル ユ リ カ ゴ カ ヤ ア ア ワ ガ ス テ フ プ ネ
る る ゆ り か ご か あ わ が す て を ぶ ね

散りゆく花

一 堤に連なる
朝日の光に
風さへたゝぬを
散りゆく花
いつの世にも

二 糸引く春雨
天地の涙か
咲く花あだなり
されども誰か
春を恨み

黒澤隆朝

千本の櫻
雪と散りしく
夕べもまたで
惜しむ心
變らじ

散る花惜しむ
終日くらし
千種ながらに
永久にめぐる
はてたる

〔註〕春雨のふるは涙かさくら花
ちるを惜しまぬ人し無ければ 大作黒主
さくら花は千種ながらにあだなれど
誰かは春をうらみはてたる 藤原興風

玻璃の清水

ドイツ曲
編者編曲

♩ = 100.

p

一 { ハ リ ニ モ リ シ シ ミ ツ ノ
キ ヨ キ ワ レ ラ ヲ ト メ ノ
二 { ひ と の こ こ ろ か が み に
き よ き わ れ ら を と め の

cresc. più mosso
mf

{ ト ハ ニ ス メ ル ス ガ タ ヤ チ リ ニ
ホ コ リ タ カ キ コ コ ロ ヲ ズ く も り
{ う つ す す べ も あ り な し ば み む
こ こ ろ を 一 ぞ う つ な し み む

più mosso
mf cresc.

rit.

ス サ ブ ウ キ ヨ ノ ア ダ シ イ - ロ
し げ き う き よ の く ら き か - げ

rit.

p *a tempo*

ナ ト カ シ ソ ハ リ ノ シ ミ ツ カ ガ ミ
な う つ し そ こ こ ろ き よ く あ か る

p *a tempo*

ニ ク ワ レ ラ ヲ ト メ ス ス マ ム
く わ れ ら を と め す す ま む

pp

玻璃の清水

黒澤隆朝

一 玻璃に盛りし清水の

常久に澄める姿や

潔きわれら少女の

誇高き心ぞ

塵にすさぶ憂き世の

あだし色な溶かしそ

玻璃の清水鑑に

われら少女進まむ

二 人の心鏡に

うつす術もありなば

潔きわれら少女の

心をぞうつし見む

曇りしげき憂き世の

暗き影なうつしそ

心
潔く明く

われら少女進まむ

心 静 かに

W. A. Mozart.

Larghetto. (♩ = 72)

mp

コ コ ロ シ ヅ カ ニ ミ ル ハ ア
こ こ ろ し づ か に き く は に

p

シ タ ノ ウ ミ ノ イ ロ シ バ シ ノ ヒ マ サ ヘ モ ヤ
は ベー の あ め の お と ち す ぢ に そ そ ぐ ひ び き し

ム マ ア ラ ヌ
ら ベー さ は に

ウ ツ リ ユ ク ヒ カ リ ノ マ
ひ ろ ば ほ そ ば に は な の

マ ニ ク シ ク モ カ ハ ル ミ ツ ノー イ ロ ソ ノ ミ
ハ に の き の ひ さ し に い け の も に かな づ

ツ ノ イ ー ロ ヨ カ ミ ノ エ フー デー ノ タ ク ミ ナ ニ
る そ の しー ら ベ も の み な そー のー が く あ り き け や

カ ウ ツ シー ミ ン シ ヅ ケ キ コー コー ロ ニ ソ
か み の すー さ び し づ け き こー こー ろ も て

心 静 かに

一

心 静 かに 聞 け 心 も て

二

心 静 かに 聞 け 心 も て

静 け き 心 に ぞ

神 の 繪 筆 の 巧 何 にか 寫 し 見 ん

その 水 の 色 よ

移 り ゆ く 光 の まゝ に 奇 く も 變 る 水 の 色

しばし の 隙 さへ も や む 間 あ ら ぬ

心 静 かに 見 る は 朝 の 海 の 色

水 田 詩 仙

千 筋 に そゝ ぐ 響 し ら べ さ は に

潤 葉 細 葉 に 花 の 上 に 檐 の 廂 に 池 の 面 に

かな づ る そ の 調

も の み な そ の 樂 あり 聞 け や 神 の す さ び

聲

Allegretto. (♩. = 80)

(三部輪唱)

O. Schulze.

I
 二サ キ ミ ツ ハ ナ ノ ソ ラ ウ スー ミ ド リ ツ エ ヒ ク ヤ
 二さ き ち る ち る さ よ ひ づ きー し ろ し つ の ふ み し
 II
 マ ー チ キ モ サ ツー ヤ カ ー チ ョ チ ョ チ ョ ロ ナ
 だ ー き た ど る にー は ベ ー ち ろ ろ ち ろ ち ろ り な
 III
 ク ハ ナー ニ ト リ モ リ カ ゲ ツ ケ ー テ コ エ ラ ター ツ ネ ン
 く や むー し の ね す す き を わ け ー て こ ゑ を た ー つ ね ん
 ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
 ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
 ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
 ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

二
 聲をたづねん
 ラララララ
 ラララララ
 なくや蟲の音
 薄をわけて
 ちろちろちろり
 露ふみしだき
 たどる庭べ
 咲き散る千草
 宵月しろし
 ラララララ
 ラララララ
 一
 聲をたづねん
 ラララララ
 ラララララ
 鳴くは何鳥
 森蔭わけて
 ちよちよちよろ
 つゑひく山路
 氣も爽やか
 咲きみつ花野
 空うすみどり
 水田詩仙

二 轉 調

轉調……樂曲の途中に於いて、ある調から他の調に轉ずる事を轉調するといふ。

轉調し得る調……轉調を自然に行ふには自ら順序がある。

先づ最も普通に行はれるものは音階の各音を共有する關係長短調間の轉調で、次は共通せる音を多數に含む調への轉調である。例へばハ長調は關係短調なるイ短調への他に、最も多くの共通音を有するト長調、ヘ長調の兩調に入るを自然とする。又主調音を同じうする長短調間の轉調も屢々行はれる。

關係長短調間の轉調

例(一) Berg.

p mp a tempo
 木短調 木短調 木短調
 木長調 木短調 木長調
 cresc. 木短調
 1 mp a tempo 2 rit. 木長調

上方五度への轉調 (直接に入る場合)

例(二) Silcher.

ハ長調
 ト長調への準備 ト長調 ト長調
 ハ長調への準備 ハ長調

上方五度への轉調 (臨時轉調を経る場合)

例(三) 聖劇「ユダス・マッカベウス」より Händel.

本短調への臨時轉調 | 二長調

D.C. al Fine.

主調音を共有する長短調間の轉調

例(四) 三才女 新訂尋常小學唱歌

三 連音符と複附點音符

連音符……音符の時價は各二等分せられて種々の音符を作るのであるが、時にリズムに變化を與へる爲めに三等分、又は五等分される事がある。この音符の群をそれぞれ三連音符、五連音符と呼ぶ。

三連音符……四分音符を三等分する場合は八分音符三箇を以て之を代用し、それぞれ之に相當する音符、休符を弧線にて連ね、3を附記して之を表はす。又二分音符の三等分には四分音符、八分音符の三等分には十六分音符三箇を以て之にあてる。

$\frac{4}{4}$

$\frac{2}{2}$

五連音符

六連音符

二連音符……三拍子、六拍子には二連音符がつくられる。

$\frac{3}{4}$ $\frac{6}{8}$

複附點音符……複附點音符とは點を二つ有する附點音符で、その長さは次の圖に示す如くである。(器楽曲には三點を有する三重附點音符もある)。

複附點二分音符

複附點四分音符

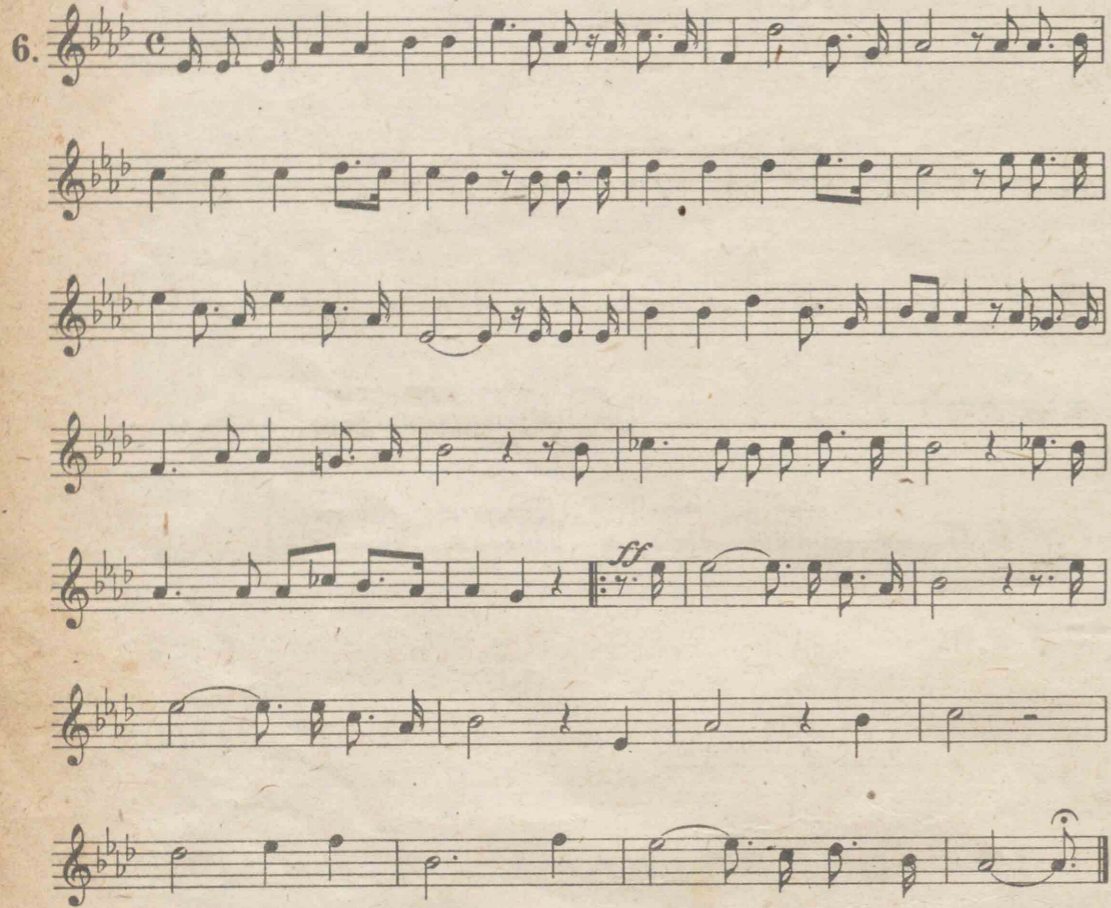
三重附點音符

音符には點を有せざる音符、即ち單純音符と附點音符とがある。休符も亦之に準じて作られる。

[鑑賞]
フランス国歌
(「マルセーユ」の歌)

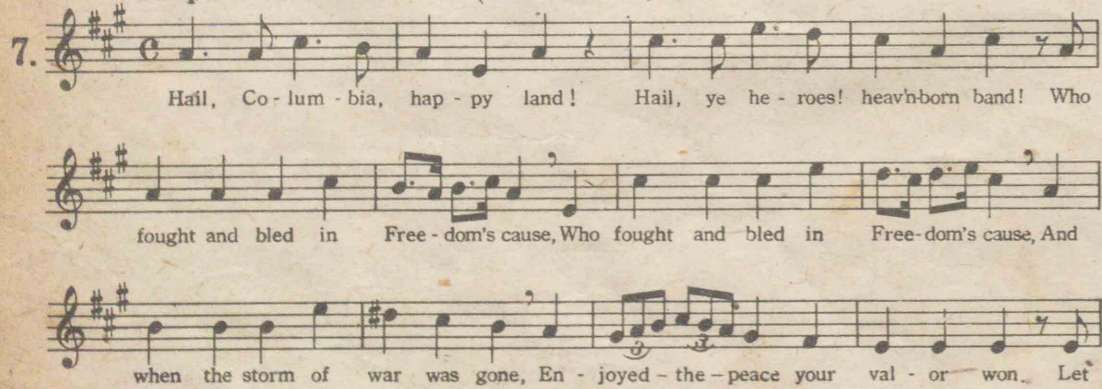
Rouget de L'isle.

Con anima.

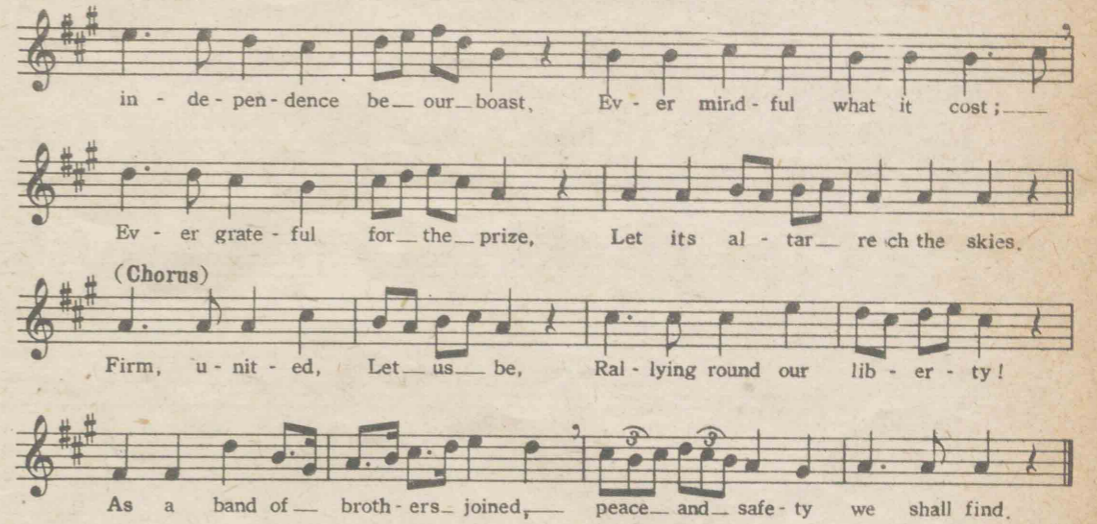
6. 

[鑑賞]
米國国歌
(Hail Columbia)

Tempo di Marcia.

7. 

Hail, Co-lum-bia, hap-py land! Hail, ye he-roes! heav'n-born band! Who
fought and bled in Free-dom's cause, Who fought and bled in Free-dom's cause, And
when the storm of war was gone, En-joyed-the-peace your val-or-won. Let

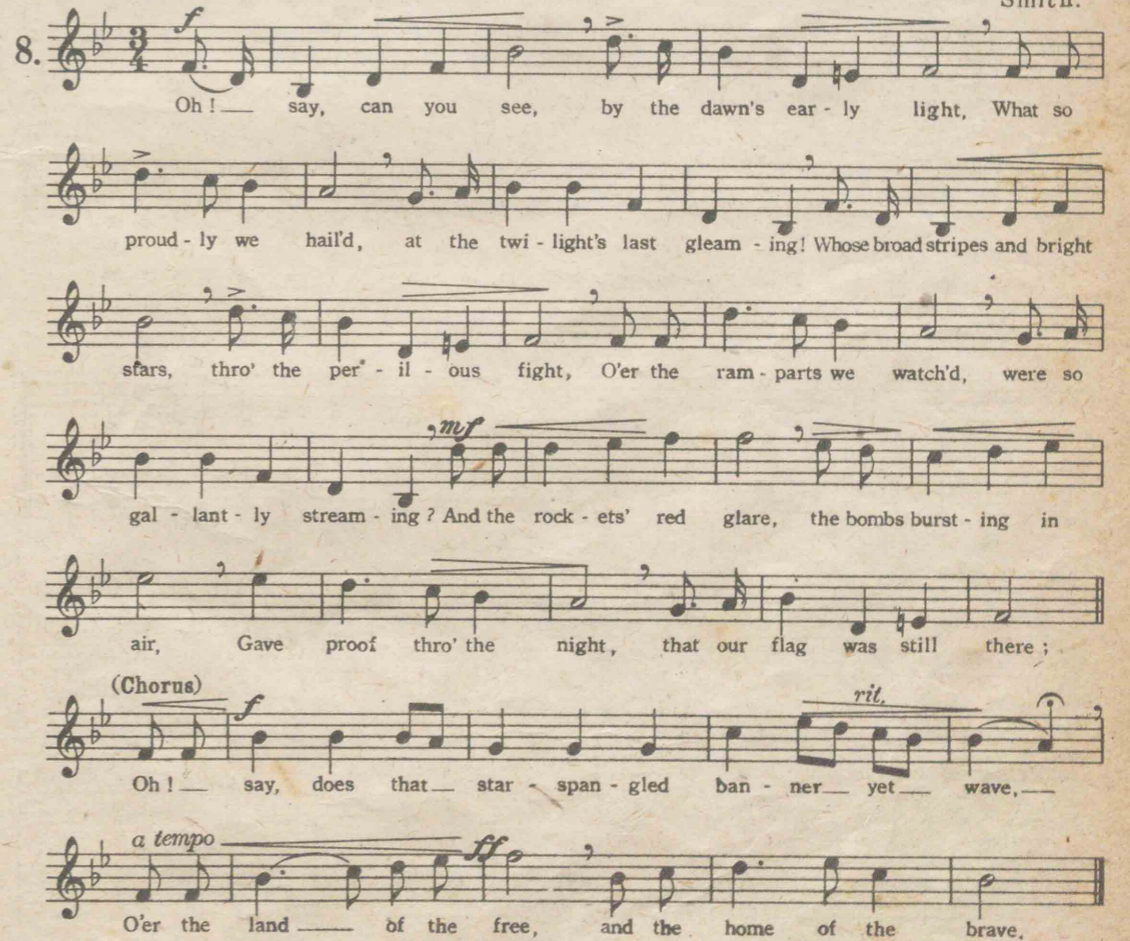


in - de - pen - dence be - our - boast, Ev - er mind - ful what it cost ;
Ev - er grate - ful for the prize, Let its al - tar - re - ch the skies.
(Chorus)
Firm, u - nit - ed, Let us be, Ral - lying round our lib - er - ty!
As a band of - broth - ers - joined, - peace - and - safe - ty we shall find.

[鑑賞]
星條旗の歌

Smith.

Andantino.

8. 

Oh! - say, can you see, by the dawn's ear - ly light, What so
proud - ly we hail'd, at the twi - light's last gleam - ing! Whose broad stripes and bright
stars, thro' the per - il - ous fight, O'er the ram - parts we watch'd, were so
gal - lant - ly stream - ing? And the rock - ets' red glare, the bombs burst - ing in
air, Gave proof thro' the night, that our flag was still there ;
(Chorus)
Oh! - say, does that - star - span - gled ban - ner - yet - wave,
a tempo
O'er the land - of the free, and the home of the brave,

海邊の眺望

Verdi.

Allegretto. (♩ = 120)

First system of piano introduction in 3/4 time, starting with a forte (f) dynamic. The music features a rhythmic pattern of eighth and sixteenth notes.

Vocal line starting with a mezzo-piano (mp) dynamic. Lyrics: 一. ソラモウミモ / ナクヤカモメ / 二. みづもそらも / とぶやそちどり

Second system of piano accompaniment, starting with a piano (p) dynamic and then mezzo-piano (mp).

Vocal line with lyrics: ヒトツイロニクレナキニアケソムール / トキヤツグルヤガテクモノイロモサヤカ / ひとついろにこがねとかしくれはちかし / いつつななつやかてくものいろもきほ

Third system of piano accompaniment.

Vocal line with lyrics: ヒイツルマノソノシツケササウゴンナル / くれゆくまのそのせはしささんぜんたる

Fourth system of piano accompaniment, ending with a forte (f) dynamic.

First system of piano introduction on page 37, starting with a pianissimo (pp) dynamic.

Vocal line with lyrics: アヒハイデーヌ / あひはしーづーむ

海邊の眺望

一 空も海も一つ色に
紅に明けそむる
鳴くや鷗 時や告ぐる
やがて雲の色もさやか
日出づる間のその静けさ
莊嚴なるその間よ その間よ

二 水も空も一つ色に
黄金溶かし暮は近し
飛ぶや千鳥 五つ七つ
やがて雲の色もきほひ
暮れ行く間のその忙しさ
燦然たるその日よ その日よ

あ 日はしづむ

黒澤隆朝

【参考】八

聖劇と歌劇

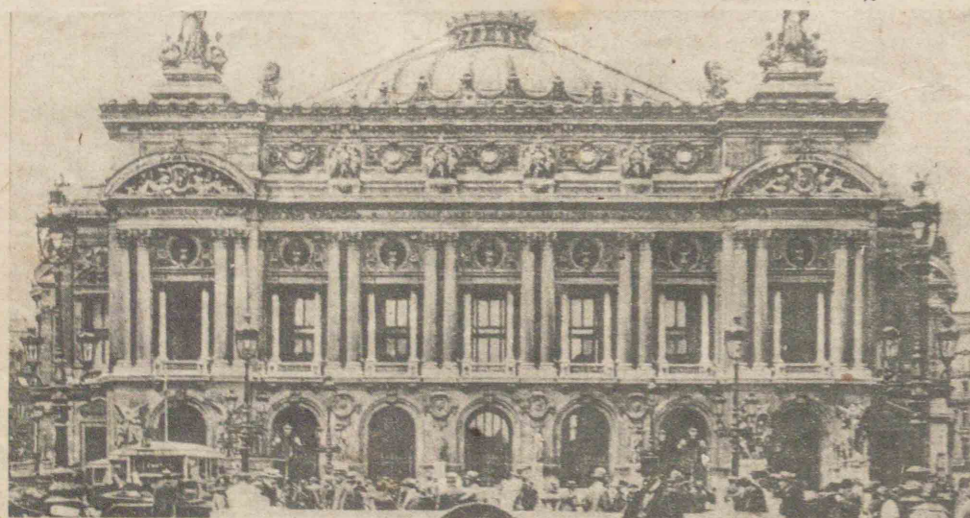
獨唱、重唱、合唱の聲樂的機能を發揮して演劇と提携したものに**聖劇**(オラトリオ, Oratorio)と**歌劇**(オペラ, Opera)がある。

聖劇……これは聖書中の物語を戯曲化して作曲演出するもので、イタリアのネリ(1515-1595)等によつて試みられた。これには舞臺装置、扮装、所作等がなく、獨唱者、合唱者は宗教的禮装のまま、一定の席につき、管絃樂の伴奏で演唱されるものである。ヘンデルの「救世主」「ユダス・マッカベウス」、ハイドンの「天地創造」「四季」、メンデルスゾーンの「パウロ」「エリヤ」等は古來名曲として知られてゐる。

歌劇……歌劇は聖劇に少し後れてイタリアのペリ(1560-1630)によつて試みられたもので、これは音楽と歌とで演出される劇である。最初選んだものはギリシャ神話の「オルフェオとユーリディーチェ」の如き物語でこの物語はその後多くの人によつて試みられた。この歌劇運動はリュッリ(1632-1687)によつてフランスに入れられ、グルック(1714-1787)によつてドイツ歌劇が樹立せられるに到つた。



「フェウスト」兵士の合唱



パリー国立大歌劇場

【参考】七

宗教音楽の話

中世期の音楽は多く宗教のために作られた。多くは聖書中の詩篇に作曲せられた讃歌で、**セント・アンブローズ**(St. Ambros, 397死)や、**グレゴリー**法王(Gregori, 600年頃生存)、降つては宗教改革の**ルーテル**(Martin Luther, 1483-1546)等はその功勞者として知られてゐる。今日演奏せられる宗教音楽には**讃歌**(Hymn)の他、次の様なものがある。

ミサ(Missa)……舊教の禮拜に用ひられる合唱曲で、ラテン語の歌詞をもつ五部分の曲である。無伴奏の場合もあるが、オルガン、又は管絃樂の伴奏を伴ふ。ベートーヴェンの「莊嚴なるミサ」は有名である。

モテット(Motet)……經文歌ともいひ、伴奏のない古い形式の合唱曲で、聖書中から取材される。バッハの作は有名である。

レクイエム(Requiem)……鎮魂曲とも安息曲ともいはれ、故人の靈を慰める意味に於いて演奏されるもので、五部分以上に分れてゐる。モーツァルトのレクイエムは古來有名である。

カンタータ(Cantata)……これは聲樂曲を意味する言葉で、宗教に用ひられるカンタータはオラトリオの小規模のものである。キリストの物語等を取材し、バッハは立派な作品を遺した。

パッション(Passion)……受難樂といひ、一種の聖劇であるが常にキリストの受難物語を取扱ふもので、バッハには有名な「マタイ受難樂」、「ヨハネス受難樂」等がある。

この他宗教音楽として最も重要なものに既出の**オラトリオ**(聖劇)がある。

獵人の合唱

Allegretto con brio. (♩ = 112)

Weber.
編者 編曲

Allegretto con brio. (♩ = 112)

一. コ ガ ネ マ バ ユ キ ク ラ オ キ ワ タ シ コ
二. い り ひ も も り に な ぐ り を と ど め た

マ ノ ヒ ツ メ ノ オ タ カ シ タ マ シ ヒ コ メ シ
の シ キ け ぶ を や し の び ぬ ら ん に し に ひ が し に

ワ サ モ ノ ニ ナ ヒ イ ク ト セ ト モ ニ キ タ ヘ タ ル ウ
え も の を あ さ り た が ひ に ほ こ る も の が た り い

デ ノ ナ カ ラ キ ソ ヒ テ ミ ン イ ザ ヲ モ ヲ ツ
へ ぢ た の し ほ ま れ つ み て つ わ な ら べ て

レ ダ チ テ ソ ラ ハ ミ ド リ キ ハ ス ミ ー テ エ
か へ り ゆ く げ に も た の し か り く ら ヤ と

モノハ ヤ マニ ノ ニ ミ テ リ } ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
 も し み え で こ ま も い さ む }

ラ-ララ-ラ ラ-ララ ラ ラ

ラ-ララ-ラ ラ-ララ-ラ

ラ-ララ-ラ ラ-ララ-ラ

pp

ラ-ララ-ラ ラ-ララ-ラ

ff

[鑑賞]
歌劇「魔弾の射手」花の冠合唱より

Weber.

9. Solo. *mf*

Alle

入日も森に名残をとどめ 楽しき今日をやしのびぬらん 西に東に獲物を涉り 互に誇る物語 家路樂し譽つみて 轡並べて歸りゆく げにも樂しかりくらや 灯火見えて駒も勇む ラララララ ラララララ ラララ 、、、、	=	獲物は山に野に満てり ラララララ ラララ 、、、、	黄金まばゆき 鞍置きわたし 駒の蹄の音高し 魂こめし業物擔ひ 幾年ともに鍛へたる 腕の力競ひて見ん いざや友よ連だちて 空はみどり氣は澄みて 獵人の合唱 桑田つねし
---	---	------------------------------------	--



ウェーバー (Carl Maria Friedrich von Weber, 1786 — 1826)
 の父は名譽ある男爵で相等の富を持つて居たのであるが放逸に身を落し、赤貧浮浪の徒となつた。彼は此の父を父としてオイティンに生れ、父と共に流轉の生活を續けたのであるが我が子に樂才ありと見た父は、第二のモーツァルトに仕立てようと音楽教育を與へた。(モーツァルトの夫人はウェーバーの一族から出てゐた。)
 十七歳の時音楽の都ウィーンに出て、ハイドン、ベートーヴェンに接し大いに決心する所があり歌劇の作曲に志した。一日詩人キンドと古本屋に入りドイツ古傳説の書を深し出し、徹夜して之に讀み耽つた。彼の民族的オペラの計畫は既に此の時に起つて居たのである。即ちその中の「魔弾の射手」と「獵人の花嫁」の話は後日合作して「フライシュッツ」となし、大好評を博した歌劇である。此の外「オベロン」等の有名な歌劇をも遺した。

[鑑賞]
舞踏への勧誘

Weber.

10. Allegro vivace.

Wiegend. (揺るやうに) *p*

後略

山のうた

Allegro giusto. (♩. = 112)

L. Denza.
編者 編曲

高音

ウタ ハタノ シヤマノウタ タノシ
ニう た はうれしやまのうた うれし

合唱

ヤ タノシ ヤ トホ クヒビ
や タノシ ヤ も り にひび
うれし や

合唱

クヤマビコヨ ソノコエ タキ
くことりのね きよらに ソノコエ

低音

ドリユクヤウラノヤマ ナツカシ
ぎ にふくはやまのかぜ そよそよ

合唱

ナツカシ コエ ヲソロヘヤマノ
そよそよ と も にうたふやまの

合唱

ウタ ウタヘ ヤ ウタヘ ヤ
うた うれし や うれし や

イザ イザ ヨロコビイ コエ
き け き け とりも き も ー う た

p cres - - - cen - - - do

ア ゲ ヤ マノウタ ララ ラ ララ ララ ララ ララ
ふ よ やまのうた ララ ラ ララ ララ ララ ララ

ad lib. a tempo

ラ ララ ララ ホ ガラ カ ニ ウタ ヘ ヤ マノウタ
ラ ララ ララ と も ど も に う た ふ や ま の う た

二 (高音)

歌はうれし 山のうた うれしや (合唱)

(高音) 森にひびく 小鳥の音 きよらに (合唱)

(低音) 樹々に吹くは 山の風 そよ (合唱)

(低音) ともに歌ふ 山のうた うれしや (合唱)

(合唱 繰返) 聞け 鳥も樹も うたふよ 山のうた 歌ふ 山のうた

一 (高音)

歌はたのし 山のうた たのしや (合唱)

(高音) 遠くひびく 山彦よ その聲 (合唱)

(低音) 迎りゆくや裏の山 なつかし (合唱)

(低音) 聲をそろへ 山のうた うたへや (合唱)

(合唱 繰返) いざ 歡喜の 聲あげ 山のうた

ラ、ラ、ラ、朗かに歌へ 山のうた

桑田 つねし

【参考】九

シンフォニー(交響曲)の話

シンフォニーといふ語は、十七世紀頃には器樂で合奏される曲、又は合奏することをさして用ひられた語であるが、ハイドンが管絃樂のために、ソナタ形式によるソナタ曲を書いてシンフォニーと命名してから、一般にシンフォニーといへば、ソナタ形式によつて書かれた管絃樂曲をさすことになつたのである。

それ故ハイドンは又「シンフォニーの祖」ともよばれてゐる。

シンフォニーはその後作曲術の極致として競つて作曲せられ、一般の人々も亦最高水準の音樂としてこれを鑑賞して來た。

ハイドンには「驚愕」「時計」「ロンドン」等の標題をもつて知られてゐる曲が多數あり、モーツァルトには代表作といはれる「變ホ長調」(白鳥の歌)、「ト短調」「ハ長調」(ジュピター)の三曲がある。中でも「ト短調」は有名である。

ベートーヴェンには九曲の交響曲があつて、何れも傑作といはれるもので

Symphonie N° 5.
Allegro con brio (♩ 108.)
L. van Beethoven, Op. 67
1796-1807

ベートーヴェン「第五交響曲」(ハ短調, 作品六十七, 1808初演)

あるが、「第三」(英雄)、「第五」(運命)、「第六」(田園)及び「第九」(合唱)等は屢々演奏されるものである。中でも「第五」は交響曲の典型的名作として賞讃されてゐる。

又シューベルトはその美しい旋律にのせて「未完成」を遺し、その他メンデルスゾーン、シューマン、ブラームス、ブルックナー、チャイコフスキー等も交響曲を書いた。中でもブラームスはベートーヴェンを繼ぐ大家として知られてゐる。

モーツァルトの「ト短調」、ベートーヴェンの「第五」、シューベルトの「未完成」の三曲は交響曲の粹として古來珍重されてゐる。

管絃樂による曲に、ソナタ曲による嚴密な意味の交響曲の他に、同じ樂器編成による交響曲風の樂曲がある。これは十九世紀の中頃から盛んになつたもので交響詩曲、序曲、組曲と稱せられる種類のものである。リスト、ベルリオーズ、グリーク、チャイコフスキー、リヒャルト・シュトラウス等はその大家として知られてゐる。

Symphonie N° 40
K. 431
W. A. Mozart
(1756-1791)

モーツァルト「ト短調交響曲」

Symphonie B m. moll
D. major - Si mineur
(Cavatendete - Unfinished - Inachevée)
Franz Schubert, Op. posth.
(1797-1828)

シューベルト「未完成交響曲」(ロ短調)



ロッシーニ (Gioachino Antonio Rossini, 1792 — 1868) 彼はイタリー、ペサロの屠殺者の子として生れたが、生來の美聲から母と共に歌劇によつて家計を助けるやうになり、之が彼の歌劇作曲への動機をなしたものである。十五歳の時ボローニャの音楽學校に入り歌劇作曲をなし、三年後には處女作「タンクレディ」を發表して大成功を収め、1816年には滑稽歌劇の傑作「シヴィリアの理髮師」を發表し、1829年にはパリーで「ウィリアム・テル」を出して彼の歌劇界の位置を決定した。彼は十九世紀初頭のイタリー歌劇を代表する音楽家で、ウエーバーのドイツ歌劇に對立してイタリー歌劇の粹を誇つたもので、之はベルリーニ、ドニツェッティ等に繼承せられて今日のイタリー歌劇に至つたのである。

[鑑賞]

歌劇「ウィリアム・テル」中の牧歌調

G. Rossini.

11. *Andante.*

後略

[鑑賞]

歌劇「ウィリアム・テル」中の行進曲

G. Rossini.

12. *Allegro vivace.*

ff (トラムベツト)

pp (絃楽器)

後略



チャイコフスキー (Peter Tschaikowsky 1840 — 1893) はロシアが誇とする國民音楽の開拓者として、記憶すべき大作曲家である。彼はウラル山麓のカムスコ・ヴォチンスクに生れ、父がペトログラードの工學校長となるや、父に伴はれて法律學校に學んだ。然し生來の樂才漸く萌し、二十二歳にして音楽に轉じた。乃ちペトログラード音楽學校に入りルービンシュタインに作曲を學ぶ。此所を優等の成績で卒業し後モスコ音楽學校長に擧げられた。彼は此所で作曲に専念し第五・第六(悲愴交響曲)の交響曲の外、各種の美しい作品を書いた。「千八百十二年の序曲」又は「アンダンテ・カンタービレ」の如き美しい作もある。彼はロシアの民謡に立脚してルービンシュタイン等と共にロシア國民樂の建設に盡した。

[鑑賞]

アンダンテ カンタービレ

P. Tschaikowsky.

13. *Andante cantabile.*

p, *pp*, *Fine.*, *p*, *mf*, *pp*, *p*, *pp*, *D.C.*

[鑑賞]

「悲愴交響曲」より

P. Tschaikowsky.

14. *Allegro con grazia* (♩ = 144)

(Cello. オクターヴ低く)

(管楽器)

後略

遠寺の鐘

Andantino. (♩ = 80)

Silcher.

mf

一. ツラ ナ ルーハタ
二. もみ ち にーくる

mf *p*

ノ カグ ロ キ ツチ ニ ユフ ヤ ミーシメ リ ヤマ
る とほ ヤ ま ざと に ゆふ ぐ もーひく く きの

rit.

ノ ハ クレ ヌ イ マ コー ソー ヒト ハ ワ サ ヲ ヲ へ
み き しろ し い ま こー そー そ ま は わ ざ を を へ

mf a tempo

テ イ へ チ ニー カ へ ル ム ツ ビ ノ カ タ ラ ヒ っ
て を の をー に な ひ ヤ ま が に ぞ か へ る

mf a tempo

p

シーカークー マバラ クロ キーモリー ヨーリ ホ
きーしーろー あはく かけ ふーむーひー とーの あ

p

ソークーナー ガルル トホ デラノーカー ネ
しーをーとー どむる とほ でのーかー ね

f *p*

遠寺の鐘

黒澤隆朝

一 連なる畑の かくろき土に
夕闇しめり 山の端暮れぬ
今こそ人は 業を終へて
家路にかへる 睦びの語らひ
星影まばら 黒き森より
細く流るゝ 遠寺の鐘

二 紅葉に暮るゝ 遠山里に
夕雲低く 木の幹白し
今こそ 柚は 業を終へて
手斧を擔ひ 山家にぞかへる
月しる淡く 影ふむ人の
足を停むる 遠寺の鐘

[鑑賞] 搖籃の歌二曲

Andantino, con molto espressione.

Hauser.

15. Musical score for Hauser's 'Andantino, con molto espressione'. It consists of five staves of music in 2/4 time, marked with dynamics *p* and *f*. The score includes first and second endings and is annotated with asterisks and letters: *a, *b, *c, *d, *e, and *f. The piece concludes with the marking 'sva.'.

Poco andante. (變ニ長調)

A. Iljinsky.

16. Musical score for A. Iljinsky's 'Poco andante. (變ニ長調)'. It consists of two staves of music in 3/4 time, marked with dynamics *mp* and *f*. The score is annotated with an asterisk and letter: *g. The piece concludes with the marking '後略'.

曲(15)(16)(17)に現はれた裝飾音符と裝飾記號の奏法を示す。

*a 記法 奏法: Musical notation showing the performance of a specific decorative note (marked *a).

*e 記法 奏法: Musical notation showing the performance of a specific decorative note (marked *e).

*b 記法 奏法: Musical notation showing the performance of a specific decorative note (marked *b).

*f 記法 sva. 奏法: Musical notation showing the performance of a specific decorative note (marked *f) with the marking 'sva.'.

*c 記法 奏法: Musical notation showing the performance of a specific decorative note (marked *c).

*g 記法 奏法: Musical notation showing the performance of a specific decorative note (marked *g).

*d 記法 奏法: Musical notation showing the performance of a specific decorative note (marked *d).

記法 *h 奏法: Musical notation showing the performance of a specific decorative note (marked *h).

[鑑賞] ガヴォット

Vivace. (♩ = 88)

David Popper.

17. Musical score for David Popper's 'Gavotte'. It consists of six staves of music in 3/4 time, marked with dynamics *p*, *mf*, and *p*. The score includes first and second endings and is annotated with asterisks and letters: *h. The piece concludes with the marking '後略'.

[鑑賞] ガヴォット

Allegretto.

F. Jos. Gossec.

18. Musical score for F. Jos. Gossec's 'Gavotte'. It consists of six staves of music in 3/4 time, marked with dynamics *mp*, *p*, *f*, and *mf*. The score includes first and second endings and is annotated with asterisks and letters: *h. The piece concludes with the marking '後略' and 'Fine'.

眠れ英靈

Langsam. (緩く) (♩ = 100)

F. Schubert.
編者 編曲

一. ク サ ム ス カ バ ネ ミ ツ
二. き の ふ は て き り を お ひ
三. ク ニ ラ コ ツ ノ ヲ モ ロ

ク カ バ ネ キ ミ ガ ミ
ラ カ シ ノ ー た け カ き み
ビ ト ノ ー ヌ ヌ カ ツ ク

タ テ ト イ サ ギ ヨ ク ー
タ マ マ ヲ ケ フ よ り は シ ー

チ リ テ カ グ ハ シ サ ク
ミ ヨ ノ シ カ ツ ハ エ シ コ ノ

ラ バ ナ イ サ フ ハ
ク ニ ハ を ニ ま も リ た
ニ ハ ニ ヌ ヌ ヌ ヌ ヌ ヌ ヌ

チ ヨ ニ カ ガ ヤ カ ン ー
マ ヘ や と は に ー ー
ダ マ ヲ ヌ ス ラ カ ニ ー

眠れ英靈よ 安らかに

御代の鎮めと この庭に

ぬかづく状を 看行し

三 國を擧りて 諸人の

護りたまへや とことはに

御代の榮と この國を

猛き英靈よ けふよりは

昨日は敵を 追討ちし

勳は千代に 耀かん

散りて馨し さくら花

君が御楯と いさぎよく

一 草むす屍 水漬く屍

眠れ英靈
水田時仙

【参考】一〇

シ ョ パ ン

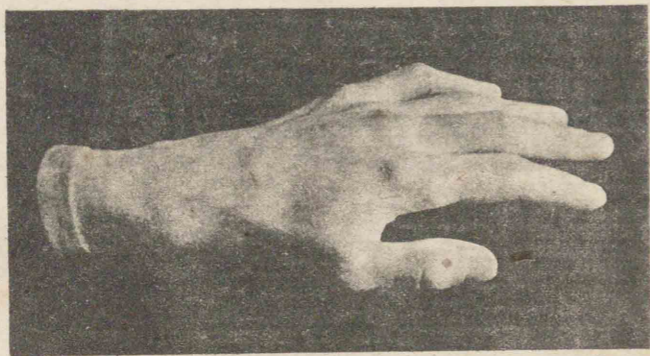


ショパン (Frederic François Chopin, 1810 - 1849), ピアノ音楽はベートーヴェンによつて力を得, ショパンによつて美を得, 然してリストによつて熟を得た。ショパンはベートーヴェンによつて管絃樂化されたピアノ音楽を, 眞の絃の樂器として之を生かし, 絃各個の響を飽くまでも尊重した。そのピアノ曲に遺した形式に, 「ノクターン」, 「マヅルカ」, 「ヴァルス」(ワルツ), 「アムブロムチュ」, 「バラッド」(譯詩曲),

「スケルツォ」(諧謔曲), 「ロンド」, 「ベルスース」(子守歌), 「エチュード」(練習曲)等がある。猶此の外ピアノソナタ, ピアノ協奏曲等を作つた。

彼はフランス士官を父とし, ポーランドの一婦人を母としてポーランドのワルソー附近に生れ, 九歳にして公開演奏會に大成功し, 後ワルソー大學の音楽

部に學び, パリーに到つて當代第一のピアニストの榮譽を得た。然し生來の病患の爲め南國に旅行する所あり, 遂ひにパリーに死んだ。死期の暁るや一握の土塊を示し, この故國の形見と一精に葬る様に言ひ遺したと傳へられる美談がある。



シヨパンの左手塑像



シヨパン自筆の「少女の願」(少女の夢)原稿と大理石の塑像

19. [鑑賞] 「幻想的即興曲」より F. Chopin. Op. 66.
Moderato cantabile.

後略

20. [鑑賞] 「マヅルカ」より F. Chopin. Op. 7, No. 1.
Vivace. (♩ = 50)

後略

21. [鑑賞] 「夜想曲」より F. Chopin. Op. 9, No. 2.
Andante. (♩ = 132)

後略

船 路

J Mazzinghi.
編者 編曲

Larghetto grazioso. (♩ = 116)

mf dolce

(第一ソプラノ獨唱)

ユクク モーノ カゲヲオーヒ

dim.

dolce

シラホーノ イツツナーツ サミドリノ

マキバーニ タ ハムルルヒ ツジノゴート

(p)

(合唱)

フキクルーカゼヨスルナミユラ

フキクルーカゼヨスルナミユラユラー

フキクルカゼヨスルナミユラ

リフネハススム スキテンバンリ

リフネハススム バンリーノ

ユラーリフネハススム スキテンバンリ

dim. dolce

ウナバラニ ウタゴエノシラベタカシ

ウナバラニ ウタゴエノシラベタカシ

ウナバラニ ウタゴエノシラベタカシ

p fp

Fine. (第二ソプラノ獨唱)

ミ ヅ ト

リ ノ ツ バ サ カ ロ ク ヒ ラ ヒー ラ ト

コ テー フー ノ ハ ナ ート ブ ス ガ ター

カ ナ ミ ハ ナ カー モ

Fine. *p*

dolce

dolce

(合唱へ)

(合唱へ)

(*p*)

(アルト獨唱)

ア マ ノ ラ ブ ネ ノ カ ヘ リ セー ハー シ ユ フ ヅ

キ ハ ソ ラ ニー ウー キ コ ガ ネ ノ

サ ザ ナ ミ オ キ ト ホ ク ツ ラ ナール

(合唱へ)

(合唱へ)

(*p*)

船 路 水田詩仙

(第一ソプラノ獨唱)
行く雲の影を追ひ
白帆の五つ七つ
早緑の牧場に
戯るゝ羊のごと

(合唱)
吹き来る風 寄する波
ゆらり 船はすゝむ
水天萬里の海原に
歌聲の調べ高し

(第二ソプラノ獨唱)
水鳥の翼かるく
ひらくと胡蝶の
花とぶ姿か 波は花かも

(アルト獨唱)
海入の小舟の歸りせはし
夕月は空に浮き
黄金の小波
沖遠く連なる

[鑑賞]
ワルツ「ドナウの漣」より

J. Ivanovici.

No.1

22. *p dolce*

No.2

p

後略

[鑑賞]
交響詩「モルダウ」より

Smetana.

23. *Allegretto. p*

mp

mf *f*

後略



スメタナ (Friedrich Smetana, 1824 — 1884) はボヘミヤが生んだ最初の大作曲家で、ドヴォルジャクの先輩である。最初ブラーグで音楽を學び、ピアノをリストに學んだ事もあつた。作曲には「モルダウ」を含む六章の交響詩曲「祖國」、その他の合奏曲、ボヘミヤを取材した「賣られた花嫁」等の歌劇曲をのこした。彼の作曲理念は祖國を歌ふにあつた。この精神は北歐の國民樂派の振興を大いに促進したものである。

[鑑賞]
ワルツ「碧きドナウ河」より

J. Strauss.

24. *Tempo di Valce.*

後略 *p*



ヨハン・シュトラウス (Johan Strauss, 1804 — 1849) はウィーンに生れたワルツの作曲家で、世人が彼をワルツ王と稱してゐる。約百五十のワルツがある。然し今日演奏されるもの、多くは同名の長男 (1825 — 1899) の作品になるもので「碧きドナウ河」、「藝術家の生涯」、「ローマの謝肉祭」、「ウィーンの森の物語」等四百八十曲のワルツは皆長男のヨハンによつて、作られたものである。

紡ぐ少女

Hugo Jüngst.

Molto tranquillo e fervore. (♩ = 56)

一 マドノモトニ
二 ちちはこぞの

イトクルヲトメ - ヤヌチハクラク
い くさのにはに - く にのま もりの

ケ フモク レ ユク なりぬ
か みとは

pp poco più lento e dolce
三 アイコヘワコトイ タハルハハノ - ヤ サシキ

pp
コエニ ナ ミダヲカクス

smorz. pp ad lib.

紡ぐ少女
植村 甫

一 窓の下に 糸繰る少女
家内は暗く 今日も暮れゆく

二 父は去年の 戦の庭に
國の護の 神とはなりぬ

三 「憩へ吾子」と いたはる母の
やさしき聲に 涙をかくす

雪山の歌

高木東六作曲

♩ = 100. (ゆるく流れるやうに)

(ソプラノ独唱)

はるかなる

dolce e espressivo *a tempo*

mf *rit.* *mf*

Ped. *Ped.* *Ped.* *Ped.* *Ped. simile*

やまべにゆふひあかくもえま

しろきやまのはだきよらにかが

(合唱)

やくあのやまこのたにともと
あのやまこのたにとも

すべるうれしさよ (独唱)
てをとりますべるうれしさよ

とーてをとりますべるうれしさよ

うれしさよいつかひはおちてねむれ
さよいつかひはおちてねむれ

さよいつかひはおちてねむれ

る や ま - や ま (い) な の き - ま ~ -
 る や ま ら ま

は む ね は を ど る よ あ す も た の し
 り た り た a tempo a tempo
 あ す も た の し

あ す も た の し

や
 や
 piu mosso
 mf

[Piano solo] Ped. Ped. Ped. Ped. Ped.

cresc. poco a poco rit.
 f p
 Ped. Ped. simile

Lento. ♩ = 70 位 [ゆるく落着いて]
 あ す も た の し や
 あ す も た の し た の し や

Lento.
 mf > f f
 molto cresc.
 Ped. Ped. Ped. Ped. *

雪山の歌

(ソプラノ独唱)

遙かなる山邊に
 夕陽赤く燃え
 眞白き山の肌
 きよらに輝く

(合唱)
 あの山 この谷
 友と手をと
 滑る嬉しさよ
 いつか陽は落ちて
 眠れる山々
 粉雪舞へば
 胸は踊るよ
 明日もたのしや

鳥羽俊三 作詞

[鑑賞]
「スケーターワルツ」より

E. Waldteufel.

25. *p espressivo*

1.

2. *pp*

後略

[鑑賞]
「トロイカ」より

P. Tchaikowsky.
Op. 37, No. 11.

26. *Allegro moderato.* *mf*

espress.

後略

若人の歌

J. A. Butterfield.

♩ = 108. *mf*

一. セカイニクルワガヒノモトノサ
二. しかいにはをなすわがひのものと

カエノホマレハタレニカカカルイザワカキトモ
からのほまれをたれにかたよるいざわかきとも

ガマナベヨハーゲメノゾミノヒカリヲタカ
がらきたへよみーがーけせいぎーのかかやきもろ

ラカニカカーゲイザワカキトモガマナベヨハーゲ
てにかかーけいざわかきともがらきたへよみーがー

メワガヒノモトハワカウドノクーニ
けわがひーのもーとはわかうどーのくーに

若人の歌

植村 甫

一 世界に冠たる 我が日の本の
榮の譽は 誰にか懸る
いざ若き輩 學べよ勵め
希望の光を 高らかに掲げ
いざ若き輩 學べよ勵め
我が日の本は 若人の國

二 四海に覇をなす 我が日の本の
威力の譽を 誰にか頼る
いざ若き輩 鍛へよ磨け
正義のかゝやき 諸手に掲げ
いざ若き輩 鍛へよ磨け
我が日の本は 若人の國

早春賦

中田章作曲

Andantino. (♩ = 116)

一ハルハナノミノカゼノサムサヤ一タニノウグ
 二こほりとけさはつのがむ一さてはとき
 三ハルトキカネバシラデアリシヲ一モケバセカ

ヒスウタハオモヘド一トキニアラズ一トコ
 ゴとのおもふあやにく一けふもきのふ一もゆ
 ルルムネノオモヒヲ一イカニセヨト一ノコ

エモターテズ一トキニアラズトコエモターテ
 キのそーら一けふもきのふもゆきのそー
 ノゴローカ一イカニセヨトノコノゴロー

ズー
 らー
 カー

早春賦

吉丸一昌

一 春は名のみの 風のさむさや
 谷の鶯 歌は思へど
 時にあらずと 聲も立てず
 時にあらずと 聲も立てず

二 氷解け去り 葦はつのがむ
 さては時ぞと 思ふあやにく
 今日も昨日も 雪の空
 今日も昨日も 雪の空

三 春ときかねば 知らでありしを
 きけば急かるゝ 胸の思ひを
 いかせよとの 此の頃か
 いかせよとの 此の頃か

皇軍凱旋

J. Offenbach.
編者編曲

Tempo di Marcia ♩=96.

f *ff*

mf

一.ム カ ヲ ヒノ ミ
二.う た ヲ よ ひ の み

p *mf*

ハ タ ホ マ レ ア ル ハ タ ヲ
は た ほ ま れ ある う た を

カ ヲ ヒノ ミ ハ タ ハ エ ア ル ハ タ
た ヲ よ ひ の み は た は え ある は た

ヲ
を

f

フン セ ン ク ト ウ ノ サ マ
か き り な き い さ を を

f

ユ ウ シ ニ マ モ ラ
た ま や ち し ほ の

レ キ ゼ ン ト エ ガ キ
か く ぜ ん と し る し

ユ ウ シ ニ マ モ ラ
た ま や ち し ほ の

mf

レ テ コ コ ク ニ カ ヘ ル
あ と そ の ひ を か た る

レ テ コ コ ク ニ カ ヘ ル
あ と そ の ひ を か た る

f

(合唱)

ムカヘヨヒノミハタコソセカイノ
うたへよひのみはたこそしかいの

マーモリゾトハニムカヘヨワガミイク
しづめぞとにはうたへよわがみいく

サヲムカヘヨイザカチニカチシミイクサ
さのうたへよいざかがやくこのがいせん

皇軍凱旋

藤村俊

迎へよ日の御旗 譽ある旗を
迎へよ日の御旗 榮ある旗を
奮戦苦闘の態 歴然とゑがき
勇士に守られて 故國に歸る
迎へよ日の御旗こそ 世界の守護ぞ永久に
迎へよ我が皇軍を
迎へよいざ 勝ちに捷ちし皇軍

歌へよ日の御旗 譽ある旗を
歌へよ日の御旗 榮ある旗を
限なき武勳を 赫然としるし
砲弾や血潮の痕 その日を語る
歌へよ日の御旗こそ 四海の鎮ぞ永久に
歌へよ我が皇軍の
歌へよいざ 輝くこの凱旋

四. 樂典の知識

〔一〕 音程

音程……音と音との高さの関係を音程といふ。或る音より他の音に移る順次的関係を**旋律的音程**といひ、同時に響く二音の関係を**和聲的音程**といふ。

〔二〕 音程の數へ方

度……音程は度を以てその程度を示す。同一音を共有する二音を一度といひ、常に上方に二度三度と數へる。



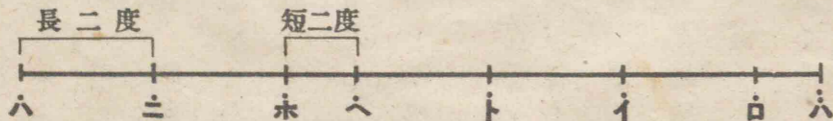
〔三〕 全音階的音程

全音階的音程……全音階（長音階、短音階）中に生ずる音程を**全音階的音程**といひ、八度以内の音程に十四種ある。

一度……**完全一度**

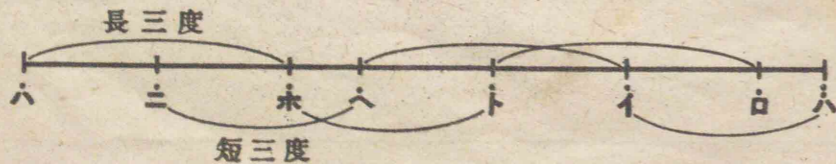
全音階中の一度はいづれの音も完全に協和す。協和の度著しきものを**完全音程**といふ。

二度……**長二度**（一全音）、**短二度**（一半音）



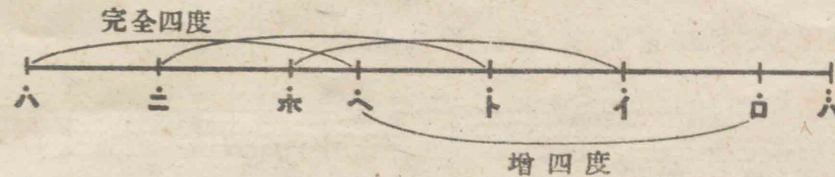
二度にはハニの如く全音程のものと、ホヘの如く半音程のものとの二種があり、之を區別する爲に幅の廣い方を**長音程**といひ、狭い方を**短音程**といふ。

三度……**長三度**（二全音）、**短三度**（一全音一半音）



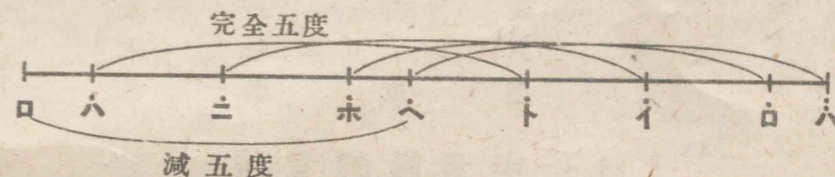
三度にはハホの如き二全音の場合と、ニヘの如き一全音一半音の場合との二種がある。之も二度の場合に準じて長短に區別する。

四度……**完全四度**（二全音一半音）、**増四度**（三全音）



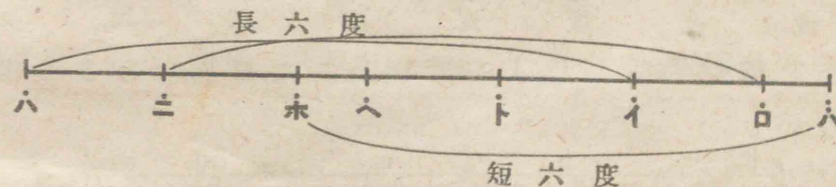
ハヘ、ニトの如き二全音一半音の音程は協和の度著しき故之を**完全四度**といひ、ヘロの如く三全音よりなる四度を**増四度**といふ。此の音程は自然音中にはヘロの唯一箇所である。

五度……**完全五度**（三全音一半音）、**減五度**（二全音二半音）



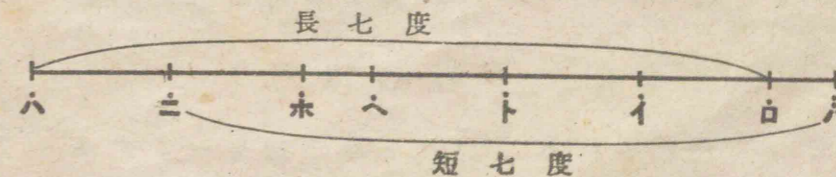
ハト、ニイ等の多くの五度は完全音程であるが、唯ロヘの一箇所は完全五度より半音だけ短い。此の場合短といはず**減五度**といふ。長、短、完全の三音程の幅が此の三種音程以上に半音程増減せられる場合、之を**増音程**、**減音程**とよぶ。

六度……**長六度**（四全音一半音）、**短六度**（三全音二半音）



ハイ、ニロ等の如き六度を**長六度**といひ、ホハ、イヘの如き六度を**短六度**といふ。

七度……**長七度**（五全音一半音）、**短七度**（四全音二半音）



六口、へホ等を長七度といひ、ニハ、ホニの如き音程を短七度といふ。

八度……完全八度（五全音二半音）

全音階中の八度は常に完全音程である。

I 完全一度 II 長二度 短二度 III 長三度 短三度 IV 完全四度 増四度
 V 完全五度 VI 減五度 長六度 短六度 VII 長七度 短七度 VIII 完全八度

〔四〕半音階的音程

半音階的音程……全音階的音程（十四音程）を嬰・變記號によつて半音増減して作つた音程を半音階的音程といふ。

増一度 増二度 減三度 減四度 増五度 増六度 減七度 減八度

次の諸音程は臨時記號によつて作られた音程であるが半音階的音程ではない。

a. 短二度 b. 長三度 c. 完全五度 d. 完全四度

即ち a は短二度でト長調の si - do, 又はニ長調の mi - fa に相當し b c d 等もそれぞれ他の調に所屬する全音階的音程である。

〔五〕音程の轉回

音程の轉回……音程を作る二音の下方の音を一オクターヴ上方に、

又は上方の音を一オクターヴ下方に移す事を音程の轉回といふ。音程を轉回する時は一度は八度に、二度は七度に、三度は六度に、四度は五度等その和が常に九なる數となる。又長は短に、短は長に、増は減に、減は増に、完全の轉回は常に完全である。

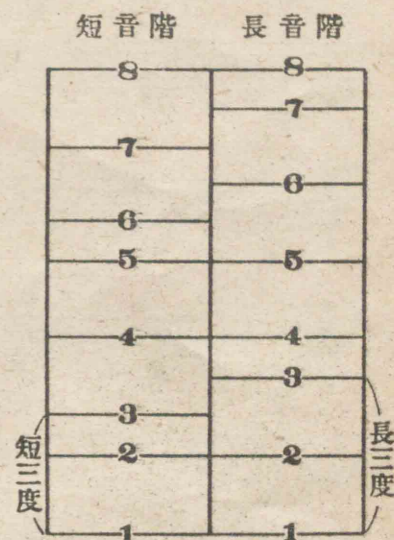
〔六〕短音階とその種類

短音階の種類……主音と第三音が短三度をなす音階を短音階といふ。短音階は第六音も亦短六度をなす。

短音階は六音七音の状態により、自然的短音階、和聲的短音階、旋律的短音階の三種類に分たれる。

自然的短音階……自然的短音階とは自然音階即ち本位音のみによる短音階で、イからイまでの音列はその基礎をなすものである。

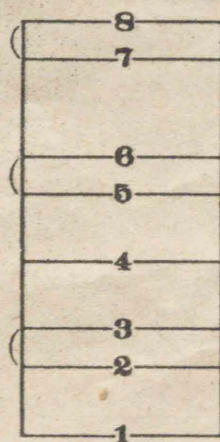
和聲的短音階……和聲的短音階とは、自然的短音階の第七音を、臨時記號によつて常に半音上げて、主音との間を半音としたもので、従つて六音と七音とは増二度をなす。



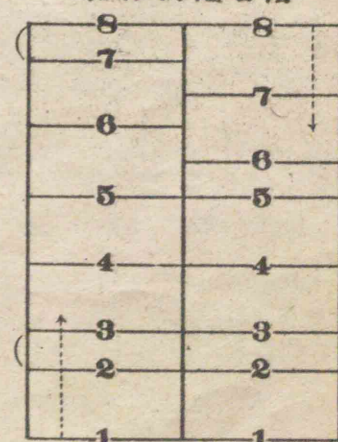
自然的短音階



和聲的短音階



旋律的短音階

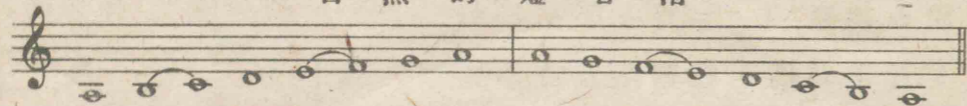


(上行) (下行)

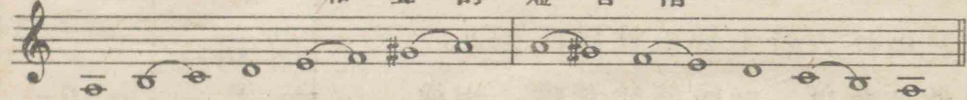
旋律的短音階……旋律的短音階は上行と下行とによつて六音七音の位置が移動する。即ち上行は長音階の如く、下行は自然的短音階の形をとる。

之等半音の上げ下げはすべて臨時記號を以て其の都度示されるものである。

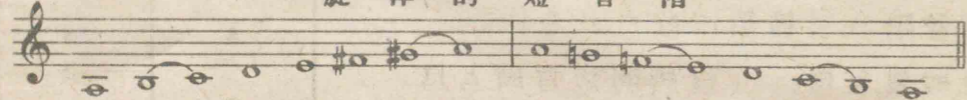
自然的短音階



和聲的短音階



旋律的短音階



〔七〕 短調の調號

短調の調號……イ調短音階は本位音のみによる音列故、ハ長調と同一の譜表を用ひて之を表はすことが出来る。凡て短調の調號は常に短三度上の長調とその調號を共有する。



ハ長調 二短調

ハ長調 二短調 二長調 イ長調 ホ長調 ロ長調 嬰ハ長調 嬰ハ長調

イ短調 ホ短調 ロ短調 嬰ハ短調 嬰ハ短調 嬰ト短調 嬰ニ短調 嬰イ短調

ハ長調 變ロ長調 變ホ長調 變イ長調 變ニ長調 變ト長調 變ハ長調

ニ短調 ト短調 ハ短調 ハ短調 變ロ短調 變ホ短調 變イ短調

【附録】-

發聲・音階練習

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7.

8.

9.

10.

11.

音程練習

[コールユーブンゲン 抜萃]

三度音程 (復習)

1.

2.

3.

四度音程 (復習)

4.

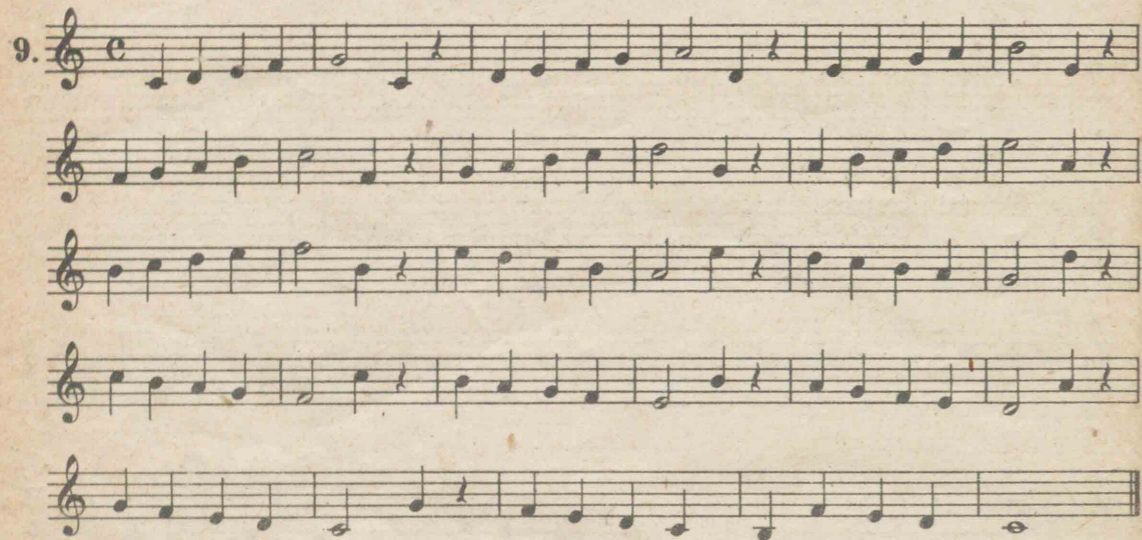
5.

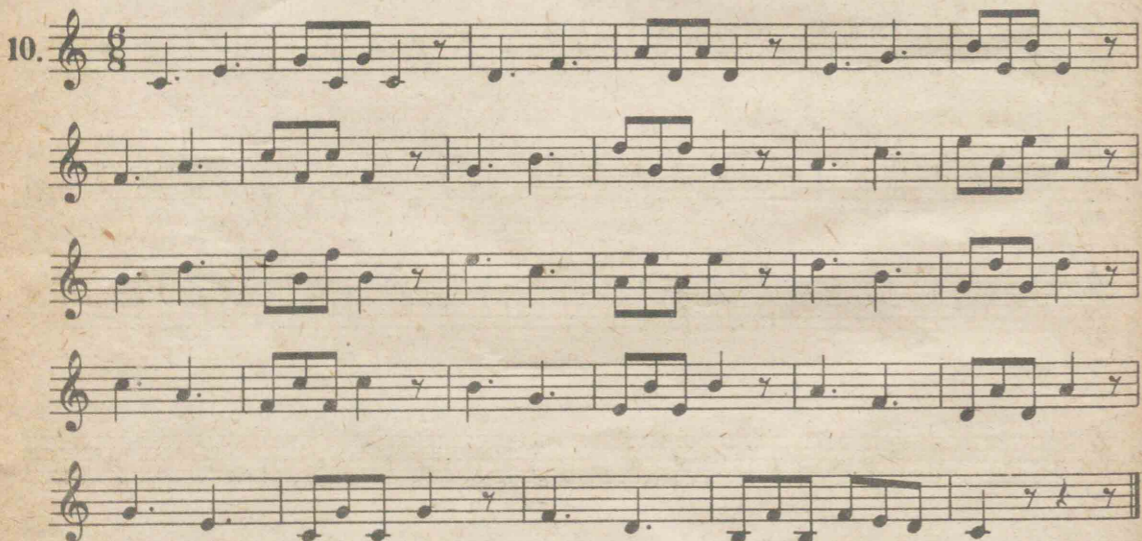
6.

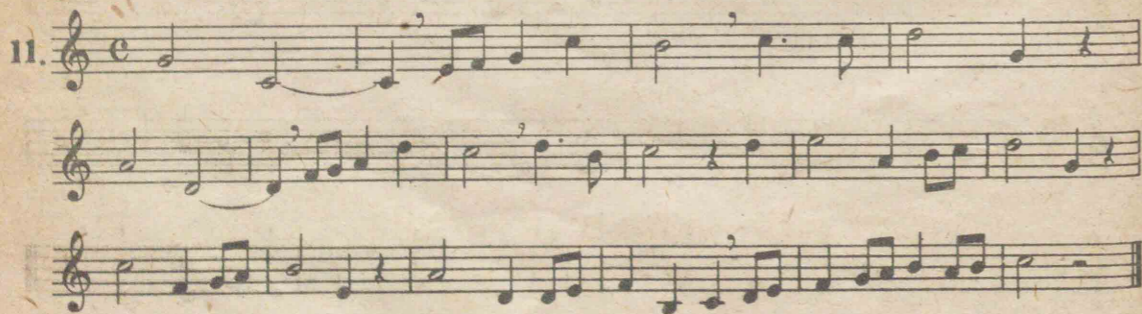
7.

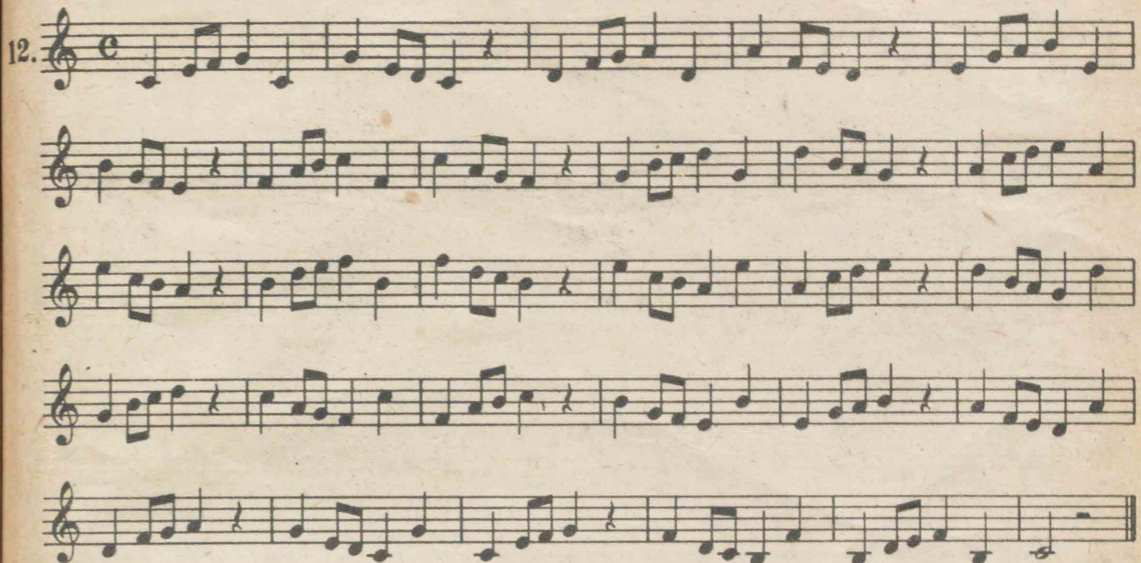
8.

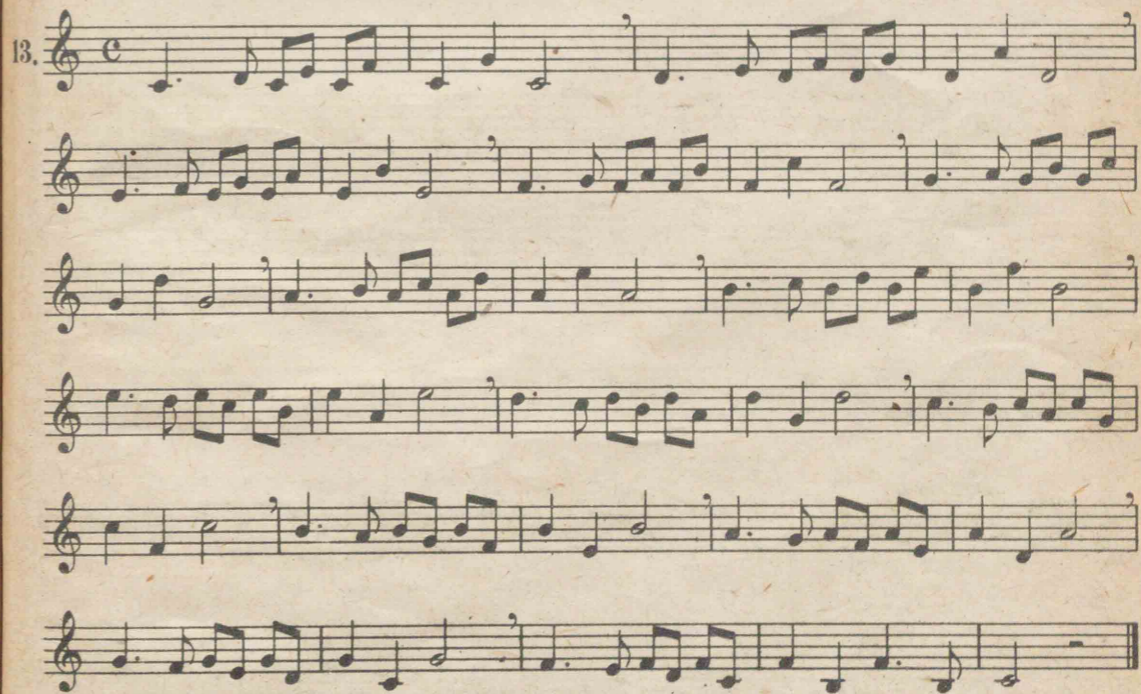
五度音程

9. 

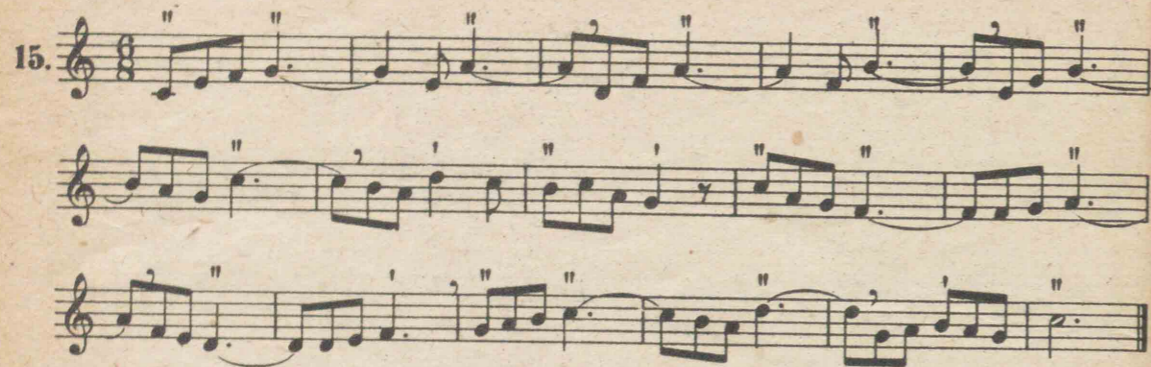
10. 

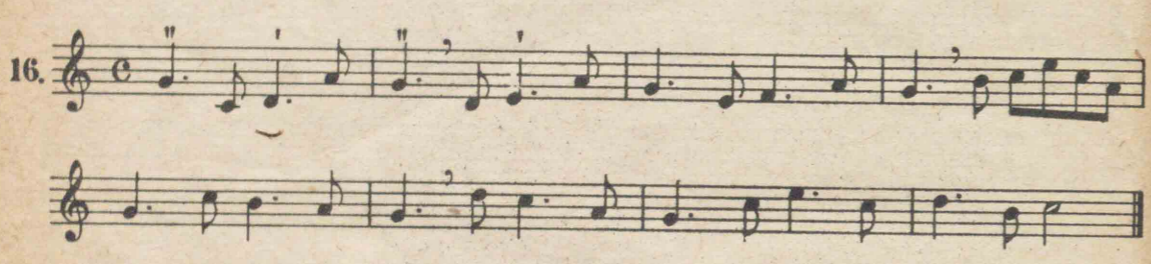
11. 


12. 


13. 

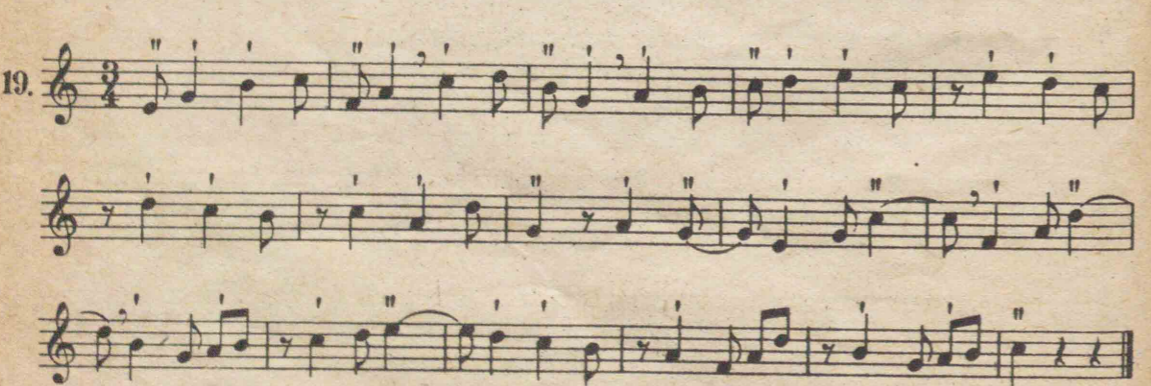
14. 

15. 

16. 

17. 

18. 

19. 

歌曲總索引 (全五編) (五十音順)

明治天皇御製「よもの海」(單音)	(1)	巻頭
明治天皇御製「國を思ふ」(單音)	(2)	〃
明治天皇御製「なよ竹は」(二部)	(3)	〃
明治天皇御製「あさみどり」(單音)	(4)	〃
昭憲皇太后御歌「大宮の」(單音)	(5)	〃

皇軍凱旋 (三部)	(オッフエンバッハ作)	(3)	78
樹 蔭 (單音)	(ルービンシュタイン作)	(4)	60

〔サ〕

五月の野邊 (單音)	(ヘルストン作)	(1)	16
さらばハワイ (單音)	(ハワイ民謡)	(1)	58
山村の春 (輪唱)	(作曲者不詳)	(1)	72
サンタ・ルチア (二部)	(ナポリ民謡)	(2)	42
オ 女 (二部)	(スコットランド民謡)	(2)	83

〔シ〕

舟 遊 (單音)	(ハミルトン作)	(1)	36
霜 の 朝 (二部)	(ウィルヘルム作)	(1)	52
白 百 合 (單音)	(ブラーム作)	(2)	32
城 山 の 秋 (二部)	(フォスター作)	(2)	60
出 陣 の 歌 (單音)	(シューマン作)	(2)	62
春 曉 (三部)	(ライヒャルト作)	(4)	1
昭和の日本 (三部)	(ウィリアムス作)	(4)	46

〔ス〕

須 磨 の 秋 (單音)	(モーツァルト作)	(1)	47
す み れ (二部)	(ヴォルガ地方民謡)	(2)	5
スキーの歌 (二部)	(黒澤隆朝作)	(2)	68

〔セ〕

雪 戦 (單音)	(ドイツ民謡)	(1)	56
青春の歌 (單音)	(メンデルスゾーン作)	(4)	14
静 夜 (三部)	(クルシュマン作)	(5)	25

〔ソ・サウ〕

早 春 (單音)	(ドイツ民謡)	(1)	68
早 春 賦 (單音)	(中田 章作)	(3)	76
そらろあるき (三部)	(レーヴァ作)	(4)	56

〔タ〕

楽しき農夫 (單音)	(シューマン作)	(2)	25
楽しき春 (單音)	(ベートーヴェン作)	(3)	2
旅 の 明 暮 (二部)	(ルービンシュタイン作)	(4)	62
探 梅 (三部)	(作曲者不詳)	(5)	70

〔チ〕

地上の歡喜 (二部)	(ベートーヴェン作)	(3)	4
散り行く花 (三部)	(作曲者不詳)	(3)	24

〔ツ〕

追 憶 (單音)	(アメリカ曲)	(1)	25
紡ぐ少女 (單音)	(ユングスト作)	(3)	68
辻 音 樂 師 (單音)	(シューベルト作)	(5)	56

〔ア〕

あ け ぼ の (單音)	(ポルトニアンスキー作)	(1)	13
愛 國 の 歌 (單音)	(ジャルディニ作)	(1)	26
朝 霧 (輪唱)	(シュベンガー作)	(1)	50
アロハ・オエ (單音)	(ハワイ民謡)	(1)	58
Alphabet (三部)	(モーツァルト作)	(3)	22
秋 草 (二部)	(小學唱歌集)	(3)	69

〔ウ・ヴ〕

ヴォルガの舟歌 (單音)	(ヴォルガ地方民謡)	(1)	61
霧 の 歌 (二部)	(フラー作)	(1)	76
海 邊 に て (單音)	(シューベルト作)	(5)	16

〔エ・エ〕

A B C (單音)	(モーツァルト作)	(1)	14
英 國 國 歌 (單音)	(カレー作)	(1)	24
遠 足 (單音)	(ドイツ民謡)	(1)	30

〔オ・ヲ〕

少 女 の 夢 (單音)	(ショパン作)	(3)	58
小 琴 の し ら べ (單音)	(シューベルト作)	(4)	28

〔カ・クワ〕

花 月 (單音)	(小學唱歌集)	(1)	73
郭 公 ヲ ル ツ (二部)	(ヨナソソ作)	(2)	8
海 國 日 本 (二部)	(キューケン作)	(2)	78
海 邊 の 眺 望 (單音)	(ヴェルディ作)	(3)	36
花 鳥 (單音)	(ヴェルナー作)	(4)	7
かきやくさつき (四部)	(ブラーム作)	(4)	10
風にならばや (二部)	(メンデルスゾーン作)	(5)	9

〔キ〕

君 が 代 (單音)	(林 廣守作)	(1)	1
------------	---------	-----	---

〔ク〕

暮 の 鐘 (二部)	(ボヘミア民謡)	(2)	76
------------	----------	-----	----

〔コ・クワウ〕

故 郷 の 追 懐 (單音)	(ベリー作)	(1)	38
樹 蔭 の 泉 (二部)	(ドイツ曲)	(2)	56
胡 蝶 (單音)	(シューマン作)	(3)	10
心 静 か に (單音)	(モーツァルト作)	(3)	28
聲 (輪唱)	(シュルツェ作)	(3)	30

[テ]

天壤無窮 (二部) (ベートーヴェン作) [3] 8

[ト]

時計 (輪唱) (ドイツ曲) [1] 50

遠寺の鐘 (單音) (ジヘル作) [3] 52

[ナ]

なみ風 (單音) (小學唱歌集) [1] 12

夏を楽しむ (二部) (ロッシーニ作) [2] 40

懐しの我家 (三部) (ビショップ作) [5] 12

[ニ]

日章旗 (單音) (シュワルツ作) [1] 20

日本帝國 (二部) (ブローム作) [2] 22

[ネ]

眠れ英靈 (四部) (シューベルト) [3] 56

[ノ]

野寺の鐘 (輪唱) (イギリス曲) [1] 51

野薔薇 (單音) (シューベルト作) [4] 6

[ハ]

春霞 (單音) (ハットン作) [1] 10

春の曙 (單音) (ウェスレイ作) [1] 11

春の夜 (單音) (ハリソン作) [2] 4

母のおもひ (單音) (小學唱歌集) [2] 17

春の山野 (單音) (ブラッドハーリー作) [2] 20

箱根路 (二部) (ヘッラー作) [2] 50

鳩と泉 (輪唱) (ハウプトマン作) [2] 70

花 (二部) (瀧 康太郎作) [2] 80

春の歌 (三部) (メンデルスゾーン作) [3] 18

玻璃の清水 (單音) (ドイツ曲) [3] 26

母と子 (二部) (ウィーン調) [5] 22

羽衣の舞 (四部) (ヴェーバー作) [5] 48

春の祝歌 (四部) (ズエデルマン作) [5] 60

[ヒ]

飛行機 (單音) (ドイツ民謡) [1] 67

雲雀 (二部) (作曲者不詳) [2] 3

雲雀の歌 (四部) (メンデルスゾーン作) [5] 1

[フ]

故郷さらば (單音) (ドイツ民謡) [1] 21

舊都の月 (單音) (ヘイズ作) [1] 28

福壽草 (輪唱) (ドイツ曲) [1] 49

冬の旅 (單音) (クッタ作) [1] 53

ブラームスの子守歌 (單音) (ブラームス作) [1] 28

船路 (三部) (マツデンギイ作) [3] 62

款乃の調 (二部) (オッフエンバッハ作) [4] 40

ふるさとの夢 (三部) (ドヴォルジャック作) [4] 66

富嶽の頌 (三・四部) (ストゥッツ作) [4] 74

古池の蛙 (四部) (ドイツ民謡) [5] 34

[ホ]

牧人の歌 (二部) (グリーガー作) [2] 36

ボートの唄 (二部) (アラール作) [2] 54

菩提樹 (三部) (シューベルト作) [4] 33

灯影 (三部) (作曲者不詳) [4] 34

亡友を懐ふ (單音) (アッシャー作) [4] 38

牧場の曙 (三部) (ウィルソン作) [5] 40

[マ]

舞扇 (單音) (作曲者不詳) [1] 62

護れ空を (單音) (黒澤隆朝作) [1] 66

籬の白菊 (單音) (アプト作) [4] 54

[ミ]

水に映る影 (二部) (グリンカ作) [2] 18

深山路 (單音) (ドイツ曲) [2] 46

みたにの奥 (單音) (小學唱歌集) [5] 69

[ム]

麦打ちの歌 (單音) (ドイツ民謡) [1] 17

蟲に寄せて (二部) (ライトン作) [2] 58

[モ]

森のひびき (二部) (キューケン作) [4] 22

モーツァルトの子守歌 (單音) (モーツァルト作) [1] 44

[ヤ]

藪のかつこう (二部) (シュミット作) [1] 32

山のうた (二部) (デンツァ作) [3] 46

山うぐいす (三部) (メンデルスゾーン作) [4] 16

山の古寺 (三部) (ブラームス作) [5] 18

[ユ]

雪山のうた (三部) (高木東六作) [3] 70

夢 (三部) (シユーマン作) [5] 44

[ヨ]

四つ葉のクローバー (單音) (ロイテル作) [5] 6

夜の曲 (單音) (シューベルト作) [5] 32

[リ・レフ]

獵人の合唱 (三部) (ヴェーバー作) [3] 40

[ル]

流浪の民 (三部) (シユーマン作) [5] 75

[ロ]

ロオレイ (單音) (ジヘル作) [2] 45

[ワ]

若草の古戦場 (單音) (スコットランド民謡) [2] 6

若人の歌 (單音) (ブッテルフィールド作) [3] 75

我が太陽 (單音) (ナポリ民謡) [4] 50

我等が精銳 (三部) (ヤコボウスキー作) [4] 78

所載名曲總索引 (全五編) (五十音順)

編 頁

[ア]

アロハ・オエ (Hiloakalani Q.) [1] 60

アルルの女 (王の行進・フランス民謡) (Bizet) [1] 63

アンニー・ローリー (オ女) (スコットランド民謡) [2] 83

アンダンテ・カンタービレ (Tschaiakowsky) [3] 51

碧きドナウ河 (J. Strauss) [3] 65

アム・メーア (海邊にて) (Schubert) [5] 16

アーゼの死 (Grieg) [5] 38

アニトラの踊 (Grieg) [5] 39

アヴェ・マリア (Gounod) [5] 59

アヴェ・マリア (Schubert) [5] 59

愛の夢 (Liszt) [5] 68

[イ]

イ長調のワルツ (Brahms) [5] 20

祈りの曲 (Max Bruch) [5] 46

[ウ・ヴ]

ヴォルガの舟歌 (ロシア民謡) [1] 61

ウィリアム・テルの牧歌調 (Rossini) [3] 50

ウィリアム・テルの行進曲 (Rossini) [3] 50

ヴァイオリン協奏曲 (Mendelssohn) [4] 20

歌の翼に (Mendelssohn) [4] 20

維納狂想曲 (母と子・ウィーン調) (Kreisler) [5] 22

[エ]

英國國歌 (Carey) [1] 24

エレジイ (Massenet) [5] 15

エルケニツヒ (Schubert) [5] 32

[オ・ヲ]

王の行進 (フランス民謡) [1] 63

オールド・ブラック・ジョー (城山の秋) (Foster) [2] 60

少女の願ひ (少女の夢) (Chopin) [3] 58

音楽に寄せて (小琴のしるべ) (Schubert) [4] 50

オー・ソレ・ミオ (我が太陽) (ナポリ民謡) [5] 28

思ひ出 (Drdla) [5] 47

[カ]

郭公 (オーストリア民謡) [1] 11

玩具交響曲 (Haydn) [1] 19

歌劇「オルフェオ」のアンダンテ (Gluck) [1] 21

歌劇「魔弾の射手」序曲より (Weber) [1] 42

歌劇「魔弾の射手」よりの歌調 (Weber) [1] 42

歌劇「フィガロの婚禮」より (Mozart) [1] 46

歌劇「ローエングリン」中の結婚行進曲 (Wagner) [1] 70

歌劇「ルチア」中の祝婚行進曲 (Donizetti) [1] 70

歌劇「トロヴァトーレ」中の兵士の合唱より (Verdi) [1] 70

郭公ワルツ (Jonasson) [2] 8

歌劇「カルメン」闘牛士の歌 (Bizet) [2] 21

歌劇「カルメン」カステネットの歌 (Bizet) [2] 21

歌劇「オベロン」 (Weber) [2] 39

歌劇「魔笛」より「心静かに」 (Mozart) [3] 28

歌劇「魔弾の射手」花の冠合唱 (Weber) [3] 44

ガヴォット (Popper) [3] 55

ガヴォット (Gossec) [3] 55

カヴァティーナ (Raff) [4] 27

歌劇「蝶々夫人」中の舟歌 (Puccini) [4] 44

歌劇「蝶々夫人」中或る晴れた日に (Puccini) [4] 45

かへれソレントへ (Curtis) [4] 53

カロ・ミオ・ベン (ナポリ民謡) (Giordani) [5] 31

歌劇「ワグネル」和蘭人中の紡ぎ歌 (Wagner) [5] 73

歌劇「タンホイザー」中の大行進合唱曲 (Wagner) [5] 73

歌劇「タンホイザー」巡禮の合唱 (Wagner) [5] 73

[キ]

驚愕交響曲 (Haydn) [1] 19

金と銀 (Lehar) [2] 12

金婚式 (Gabriel-Marie) [2] 75

[ク]

軍隊行進曲 (Schumann) [2] 65

クロイツェルソナタ (Beethoven) [3] 21

軍隊行進曲 (Schubert) [4] 32

ゲーノーのセレナーデ (Gounod) [4] 73

[ケ]

ケンタッキーの家 (Foster) [2] 61

月光の曲 (Beethoven) [5] 24

G線上のアリア (Bach) [5] 51

[コ]

故郷の夢 (アメリカ曲) [1] 39

子守歌 (Mozart) [1] 44

子守歌 (Brahms) [2] 28

子守歌 (Hauser) [3] 54

子守歌 (Hajnsky) [3] 54

ゴセックのガヴォット (Gossec) [3] 55

コール・ニドライ (Max Bruch) [5] 46

[サ]

サープライズ (驚愕交響曲) (Haydn) [1] 19

サンタ・ルチア (ナポリ民謡) [2] 42

サンカンティヌス (Gabriel-Marie) [2] 75

サドコのインドの歌 (Rimsky-Korsakow) [5] 5

[シ]

主人は冷たい土の中に (Foster) [2] 61

新世界よりのラルゴ (ふるさとの夢) (Dvofak) [4] 66

死と少女 (Schubert) [5] 16

シューベルトのアヴェ・マリア (Schubert) [5] 59

巡禮の合唱 (Wagner) [5] 73

[ス]

ステンカ・ラーズィン (すみれ) (ロシア民謡) [2] 5

スコットランドの釣鐘草 (若草の古戦場) (スコットランド民謡) [2] 6

スザンナ (Foster) [2] 61

スプリングソング (Mendelssohn) [3] 11

スケターワルツ (Waldteufel) [3] 74

スーヴニール (Drdla) [5] 47

[セ]

聖ヨハネスの讃歌 [1] 7

聖夜 (Grüber) [2] 44

星條旗の歌 (Smith) [3] 35

セレナーデ (Toselli) [4] 53

セレナーデ (Drigo) [4] 72

セレナーデ (Gounod) [4] 73

セレナーデ (Tosti) [4] 73

セレナーデ (Schubert) [5] 32

[ソ]

双頭の鷲の下に (F. Wagner) [2] 66

ソルヴェージュの歌 (Grieg) [5] 39

[タ]		フランス国歌	
楽しき農夫 (Schumann)	[2] 25	舞踏への勧誘 (Weber)	[3] 34
タウベルトの子守歌 (Taubert)	[2] 44		[3] 45
第九交響曲〔地上の歡喜〕 (Beethoven)	[3] 4	[ヘ]	
[ツ]		米國国歌	[3] 34
ツィゴイネルワイゼン (Sarasate)	[2] 75	へ調のアリア〔樹陰〕 (Rubinstein)	[4] 60
紡ぎ歌 (Wagner)	[5] 73	ペール・ギュント (Grieg)	[5] 38
ツィゴイネルレーベン〔流浪の民〕 (Schumann)	[5] 75	[ホ]	
[テ]		ポッパーのガヴオット (Popper)	[3] 55
天使 (Rubinstein)	[4] 65	ホロネース (Chopin)	[3] 42
[ト]		ホフマンの舟歌〔歌乃の調〕 (Offenbach)	[4] 40
トイ・シンフォニー〔玩具交響曲〕 (Haydn)	[1] 19	ホーム・スキート・ホーム〔懐しの我家〕 (Bishop)	[5] 12
ドイツ国歌 (Haydn)	[1] 19	「牧神の午后」前奏曲 (Debussy)	[5] 74
闘牛士の歌 (Bizet)	[2] 21	[マ]	
トロイメライ (Schumann)	[2] 65	マドリガル (Simonetti)	[1] 31
ト調のミヌエツト (Beethoven)	[3] 14	滿洲國国歌	[2] 67
トルコ行進曲 (Beethoven)	[3] 15	マルセーユの歌〔フランス国歌〕	[3] 31
トルコ行進曲 (Mozart)	[3] 15	マヅルカ (Chopin)	[3] 61
ドナウ河の漣 (Ivanovici)	[3] 65	魔王 (Schubert)	[4] 32
トロイカ (Tschaiakowsky)	[3] 74	マリアの子守歌 (Max Reger)	[5] 46
トゼリのセレナーデ (Toselli)	[1] 53	[ミ]	
ドリコのセレナーデ (Drigo)	[4] 72	ミヌエツト (Beethoven)	[3] 14
トスティのセレナーデ (Tosti)	[4] 73	ミヌエツト (Paderewski)	[4] 26
[ナ]		ミリタリーマーチ (Schubert)	[4] 32
名残の薔薇 (Th. Moore)	[1] 71	未完成交響曲の主題 (Schubert)	[4] 32
ナチスの歌旗を掲げて	[2] 66	[ム]	
ナポリ民謡 (Curtis)	[4] 53	無言歌 (Mendelssohn)	[3] 11
[ニ]		[メ]	
日曜日〔百合〕 (Brahms)	[2] 32	メリー・ウィードー・ワルツ (Lehar)	[2] 7
ニーナの死 (Pergolesi)	[5] 31	[モ]	
[ネ]		モルダウ (Smetana)	[3] 65
眠りの精 (Brahms)	[2] 31	[ヤ]	
[ノ]		夜想曲 (Chopin)	[3] 61
ノクターン (Chopin)	[3] 59	[ユ]	
野薔薇 (Schubert)	[4] 6	ユモレスク (Dvořák)	[4] 77
野薔薇〔花鳥〕 (Werner)	[4] 7	[ヨ]	
[ハ]		搖籃の歌 (Hauser)	[3] 54
春のほゝろみ (Depret)	[1] 14	搖籃の歌 (Hjinsky)	[3] 54
ハワイの舟歌〔ハワイ民謡〕	[1] 60	四つ葉のクローバー (Reutel)	[5] 6
母なる河ヴォルガ〔ロシア民謡〕	[1] 61	[ラ]	
波上にて (Rosas)	[2] 12	ラスト・ローズ・オブ・サンマー〔名残の薔薇〕 (Th. Moore)	[1] 71
旗を掲げて〔ナチスの歌〕	[2] 66	ラルゴ〔ふるさとの夢〕 (Dvořák)	[4] 66
春の歌 (Mendelssohn)	[3] 11	ラルゴ (Händel)	[5] 55
ハンターズ・コーラス〔獵人の合唱〕 (Weber)	[3] 40	ライエルマン〔辻音楽師〕 (Schubert)	[5] 56
春の囁き (Sinding)	[5] 4	[ル]	
春に寄す (Grieg)	[5] 4	ルール (Bach)	[5] 51
春の夢 (J. Strauss)	[5] 4	[ロ]	
白鳥 (Saint-Saëns)	[5] 15	ローレライ (Silcher)	[2] 45
ハレルヤ・コーラス (Händel)	[5] 55	老犬トレイ (Foster)	[2] 61
[ヒ]		[ワ]	
「ピアノソナタ」の主題 (Mozart)	[2] 52	ワルツ調〔ドイツ曲〕	[1] 24
悲槍交響曲 (Tschaiakowsky)	[3] 51	ワルツ調 (Lehar)	[2] 7
悲歌 (Massenet)	[5] 15	ワルツ「波上にて」 (Rosas)	[2] 12
悲哀 (Saint-Saëns)	[5] 15	ワルツ「金と銀」 (Lehar)	[2] 12
[フ]		ワルツ「ドナウ河の漣」 (Ivanovici)	[3] 66
ブラームスの子守歌 (Brahms)	[2] 28	ワルツ「碧きドナウ河」 (J. Strauss)	[3] 67
ファシストの歌	[2] 67	ワルツ「スケーター」 (Waldteufel)	[3] 74
		吾が母の教へ給ひし歌 (Dvořák)	[4] 70
		ワルツ「イ長調」 (Brahms)	[5] 20

昭和十三年九月二十五日
 昭和十四年二月二十五日
 昭和十四年九月二十五日
 昭和十四年二月二十五日
 修正再版發行

發行所

東京市麹町區飯田町二丁目二十番地
中等學校教科書株式會社
 日本出版文化協會會員番號 一一七、五二二

印刷者 柴田庄次郎

發行者 東京市神田區錦町三丁目十四番地
 代表者 山本慶治

編著者 林小黑 川澤幸一 朝朗朝

定價金 七拾錢

改訂女子音樂教科書第三編

(略名) 共益黒澤女音樂三

配給元 日本出版配給株式會社
 東京市神田區淡路町二丁目九番地

番号 13079

27

アカデミイ書店

本通一ノ七市

円

書

三

名

1,000

The image shows a musical staff on the left with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The staff contains a sequence of notes: C4, D4, E4, F#4, G4, A4, B4, C5, D5, E5, F#5, G5, A5, B5, C6. To the right of the staff is a piano keyboard diagram with 12 keys. Each key is labeled with a Japanese character and a symbol indicating its pitch class and accidentals. The labels are: C (イ), C# (イ#), D (エ), D# (エ#), E (ウ), E# (ウ#), F (フ), F# (フ#), G (ソ), G# (ソ#), A (ニ), and A# (ニ#). The notes on the staff correspond to these labels: C (イ), D (エ), E (ウ), F# (フ#), G (ソ), A (ニ), B (ニ#), C (イ), D (エ), E (ウ), F# (フ#), G (ソ), A (ニ), B (ニ#), C (イ).

儀井 叢

(26)

広島大学図書
0130449388


教科
42
0130